

ALTUSCN by ATEN

16ポート

KVM over the NET™

KN9116



ユーザーマニュアル

注意

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。



© Copyright 2004 ALTUSEN® PAPE-0205-2AX

製品名等は各社の商標または登録商標です。

同梱品

KN9116 には、以下のアイテムが同梱されています。

- ◆ KN9116 KVM over the NET™ KVM スイッチ × 1
- ◆ KVM ケーブル × 2
- ◆ 電源ケーブル × 1
- ◆ ユーザーマニュアル(本書) × 1
- ◆ ラックマウントキット(ブラケットおよび M3 プラスネジ × 8) × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1
- ◆ 保証書登録カード × 1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

目次

第 1 章 はじめに	10
概要	10
特長	12
システム必要構成	13
リモートコンピュータ側	13
コンピュータ側	13
ケーブル	13
第 2 章 ハードウェアセットアップ	14
KN9116 フロントパネル	14
KN9116 リアパネル	16
セットアップの前に	17
ホットプラグ	18
ポート ID 番号	18
電源オフおよび再起動	18
ポート選択	18
第 3 章 OSD 操作	19
概要	19
ローカルコンソール	19
Administration タブ	21
ユーザー管理	22
ネットワーク	24
Access Port	24
IP Address	25
Log Server	25
セキュリティ	26
カスタマイズ	28
ポート設定	29
ポートネーム	30
日付・時刻の設定	31
ファームウェアアップグレード	32
第 4 章 ブラウザ操作	33
概要	33
ログイン	33
web ページレイアウト	35
General メニュー	35
web ページアイコン	36
web ページボタン	36

第 5 章 Windows クライアント	37
OSD の起動	37
メインページ	39
ポート操作	41
OSD ツールバー	41
OSD 画面の再呼び出し	41
ツールバーアイコン	42
ホットキー操作	43
Windows クライアントコントロールパネル	45
ホットキー	46
VGA ユーティリティ	48
ガンマ値調節	50
パネルアレイモード	51
キーボード/マウスについて	53
キー入力	53
マウス同期	54
KN9116 OSD 設定メニュー	57
第 6 章 Java クライアント	59
OSD の起動	59
Java クライアント コントロールパネル	60
ビデオアジャスト (歯車ボタン)	61
キーボード (キーボードボタン)	61
マウス (マウスボタン)	62
Lock キー LED (中央上段)	62
VGA 解像度 (中央下段)	62
パネル	63
クエスチョンマーク	63
Exit (ドアボタン)	63
ポート操作	64
ホットキー操作	64
設定ページ	64
第 7 章 ログファイル	65
メイン画面	65
第 8 章 ログサーバ	66
インストール	66
はじめに	67
メニューバー	68
KN9116 ログサーバ メインスクリーン	72
付録	74
トラブルシューティング	74

仕様	76
OSD 工場出荷時設定	77
ログイン情報の消去	78
ラックマウント	79
製品保証規定	80

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは KN9116 KVM over the NET™ KVM スイッチに関する情報や使用方法について説明しており、取付け配置方法、および操作方法の全てを提供しています。マニュアルの構成については下記をご参照ください。

- 第 1 章 はじめに: KN9116 導入の目的・機能・利益について紹介します。
- 第 2 章 ハードウェア セットアップ: KN9116 のフロント/リアパネルの説明およびセットアップ方法について説明します。
- 第 3 章 OSD 操作: KN9116 が接続されたローカルコンソールおよびネットワーク環境の操作・管理方法について説明します。
- 第 4 章 ブラウザ操作: web ブラウザを用いた KN9116 へのログイン方法および KN9116 web ページの各種アイコンとボタンについて説明します。
- 第 5 章 Windows クライアント: Windows クライアントを用いた KN9116 へのログイン方法を説明します。また OSD 画面を用いてのコンピュータへのアクセスおよびコントロール方法を説明します。
- 第 6 章 Java クライアント: Java クライアントを用いた KN9116 へのログイン方法を説明します。また OSD 画面を用いたコンピュータへのアクセスおよびコントロール方法を説明します。
- 第 7 章 ログファイル: ログファイルユーティリティを用いて、KN9116 に起こるすべてのイベントを閲覧する方法を説明します。
- 第 8 章 ログサーバ: ログサーバの導入および設定方法を説明します。
- 付録 マニュアル末尾には KN9116 についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめられています。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のようにカッコ内にプラス記号を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。

▲

重要な情報を示しています。

ヘルプ活用

追加のヘルプ情報が必要な場合のために、ALTUSEN はサポートサービスを提供しております。問題が発生し、ALTUSEN テクニカルサポートにお問い合わせになる場合、お手数ですが以下の情報についてご用意ください:

- ◆ 製品型番、シリアル番号、購入先、購入日
- ◆ OS バージョン、サービスパック、ハードウェア構成内容、ソフトウェア構成内容
- ◆ エラー発生時に表示されたエラーメッセージの内容
- ◆ エラーに至った操作内容
- ◆ その他お気づきになった点があればお知らせください

ALTUSEN テクニカルサポート

ALTUSEN テクニカルサポート電話番号
ATEN ジャパン株式会社:03-5323-7178

製品情報

ALTUSEN のすべての製品とヘルプに関する情報は、ALTUSEN Web サイトをご覧ください。
<http://www.altusen.com/>

ALTUSEN 販売店情報

ALTUSEN 製品について、お近くの販売店をご紹介致します:
ATEN ジャパン株式会社:03-5323-7170

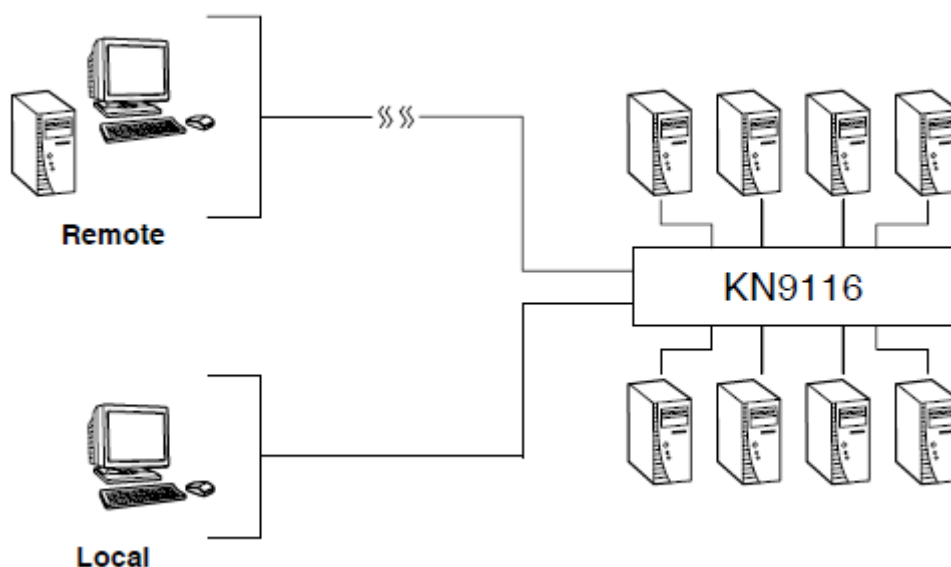
第 1 章

はじめに

概要

KN9116 はリモートとローカルそれぞれのオペレータが複数のコンピュータへのアクセス・操作を可能にする IP ベースの KVM スイッチです。KN9116 は 1 組のコンソールで最大 16 台のコンピュータをコントロールできます。

KN9116 は通信プロトコルに TCP/IP を使用し、インターネットに接続されたコンピュータなどここからでも—オフィスでも、街角でも、地球の裏側からでも—リモートサーバにアクセスすることができます。



KN9116 に接続されたコンピュータへのローカルコンソールからのアクセスは、便利で簡単なホットキーおよびマウス操作に対応した OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューシステムを使用します。便利なオートスキャン機能は、コンソールモニタに接続されたコンピュータ画面を自動的に切替え表示し、監視することができます。

リモートのコンピュータからは IP アドレス経由で KN9116 に接続します。KN9116 の製品キットで提供されるソフトウェアユーティリティはスムーズで効果的なリモートアクセスを可能にします。

OSD 機能はシステム管理者が日々直面する膨大なメンテナンス業務—GUI アプリケーションのインストールや実行、BIOS レベルのトラブルシューティング、ルーチンモニタリング、並行メンテナンス、システム管理、再起動等—を簡単にします。

リモートのオペレータは、インターネットに接続されたコンピュータならどこからでも、web ブラウザを使用して KN9116 にログインすることができます。ログインしたオペレータは Windows クライアントまたは Java クライアントを使用して KN9116 に接続されたコンピュータの操作を行います。Java クライアントはもちろんプラットフォームから独立しており、Java 対応のすべての OS 上で実行可能です。

クライアントソフトウェアは KN9116 に接続されたコンピュータのキーボード、マウス、ビデオ信号を、あたかもローカル接続されたコンソールを使用しているかのように入力することができます。KN9116 のパネルアレイ機能は分割画面方式で最大 16 台までのビデオ出力を同時表示させることができます。

KN9116 は従来の 25 ピンコネクタに代わり高密度 15 ピンコネクタを使用します。この革命的な省スペース設計は、16 ものコンピュータポートを備えているにもかかわらず 19 インチシステムラック 1U サイズを実現しました。

セットアップは便利で簡単です。ケーブルを適切なポートに接続するだけで作業完了です。KN9116 はキーボード入力をダイレクトに受け付けるので、複雑なインストール作業や互換性の問題に悩まされることもありません。

KN9116 のファームウェアはオンライン状態のままアップグレード可能です。弊社 Web サイトにて、更新された最新のファームウェアをダウンロードして頂くだけで、常に最新の状態に保つことができます。

KN9116 はその進んだセキュリティ機能によって、分散化した複数のコンピュータに対して最も速く効果的で信頼のおけるリモートアクセスを実現します。

特長

- ◆ リモートアクセス可能な 16 ポート KVM スイッチー最大 16 台のコンピュータを 1 組のコンソールで操作可能
- ◆ LAN、WAN、インターネット経由でリモートアクセスー接続されたコンピュータをネットワーク経由で操作可能
- ◆ web ブラウザ操作ーWindows クライアントおよび Java クライアントを提供、Java クライアントは対応するすべての OS で実行可能*
- ◆ OSD とツールバーによる便利でユーザーフレンドリーな操作性
- ◆ 強力なセキュリティ機能ーパスワード保護および高度な暗号化技術-1024bit RSA/128bit SSL-に対応
- ◆ ファームウェア アップグレード可能
- ◆ 最大 64 人のユーザーアカウント作成可能
- ◆ Power over the NET™ モジュールのリモートブート機能対応
- ◆ 10Base-T、100Base-T、TCP/IP、HTTP
- ◆ VGA 解像度ー最大 1,280 × 1,024@75Hz、1,600 × 1,200@60Hz
- ◆ フロントパネルは本体から分離可能で、接続作業に便利

* ブラウザが 128bit SSL 暗号化に対応している必要があります。

システム必要構成

リモートコンピュータ側

- ◆ KN9116 へのリモートアクセス時に最適なパフォーマンスを発揮するためには、リモートコンピュータは Pentium III プロセッサ 1GHz 以上の性能が必要です。VGA 解像度は 1,024 × 768 に設定してください。
- ◆ KN9116 に Windows クライアントを使用してアクセスする場合、コンピュータに DirectX 7.0 以降がインストールされている必要があります。もしお持ちでないなら、Microsoft 社 Web サイトより無料でダウンロードできます。
<http://www.microsoft.com/downloads>
- ◆ KN9116 に Java クライアントを使用してアクセスする場合、コンピュータに Sun 社の Java2 Runtime Environment 1.4 以降がインストールされている必要があります。もしお持ちでないなら、Sun Java Web サイトより無料でダウンロードできます。
<http://java.sun.com/>
- ◆ ブラウザが 128bit SSL 暗号化に対応している必要があります。

コンピュータ側

KN9116 のコンピュータポートに接続するコンピュータには以下の環境が必要です：

- ◆ VGA、SVGA あるいはマルチシンクポート
- ◆ ミニ DIN 6 ピン (PS/2) キーボードポート
- ◆ ミニ DIN 6 ピン (PS/2) マウスポート

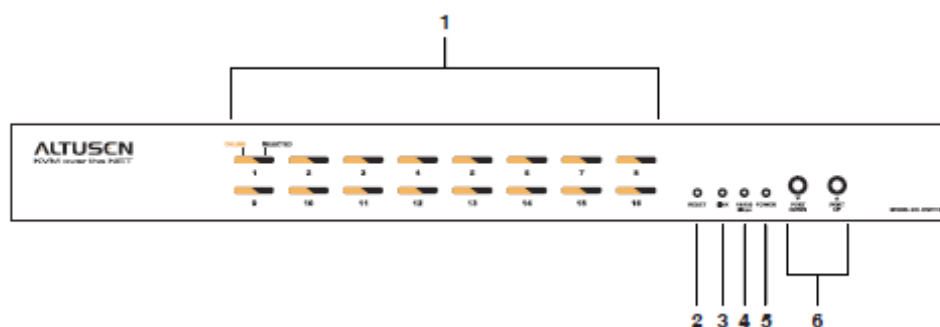
ケーブル

純正品でないケーブルをご使用になると、製品および接続する機器にダメージを与えたり、性能を著しく低下させたりする可能性があります。製品に付属するケーブルの他にケーブルを追加する必要がある場合は、お買い上げになった販売店にご連絡頂き、弊社の高品質カスタムケーブルをお買い上げになりますようお願い申し上げます。

第 2 章

ハードウェアセットアップ

KN9116 フロントパネル



1. ポート LED

ポート LED は接続された CPU ポートに対応したステータスを示します。それぞれのコンピュータポートに 1 対の LED が対応しています。左側がオンライン LED、右側が選択ポート LED です。

- ◆ オンライン LED がグリーンに点灯しているときは、その LED に対応するコンピュータポートに接続されたコンピュータの電源がオンであることを示します。
- ◆ 選択ポート LED がオレンジに点灯しているときは、その LED に対応するコンピュータポートに接続されたコンピュータが選択されていることを示します。LED が点滅しているときは、対応するポートがオートスキャンモード (P.58 参照) でアクセスされています。
- ◆ 初回電源投入時に KN9116 は自己診断を行います。その間オンライン LED、選択ポート LED は点滅を繰り返します。

2. リセットスイッチ

◆ このスイッチを押したまま KN9116 の電源をオンにすると、現在使用しているバージョンのファームウェアはリセットされ、工場出荷時のファームウェアの状態に戻ります。

◆ このスイッチを押したままの状態を **2 秒以上** 保持するとシステムのリセットができます。

注意:

このスイッチはピンホール型になっているので、押すときにはペーパークリップやペンの先端など細いものを使用してください。

3. リンク LED

この LED がグリーンに点滅しているときはクライアントプログラムがアクセスしていることを示します。

4. 10/100Mbps LED

◆ LED がオレンジに点灯しているときは 10Mbps のデータ転送速度で接続されていることを示します。

◆ LED がグリーンに点灯しているときは 100Mbps のデータ転送速度で接続されていることを示します。

5. 電源 LED

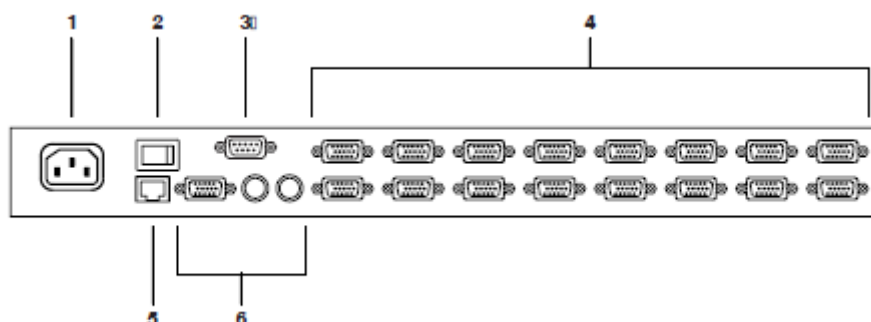
この LED が点灯しているときは KN9116 の電源がオンで操作可能であることを示します。

6. ポート選択ボタン

◆ PortDOWN を押すと、現在のポートから前のポートへと移動します。

◆ PortUP を押すと、現在のポートから後のポートへと移動します。

KN9116 リアパネル



1. 電源ソケット

AC 電源に接続した電源ケーブルを、このソケットに接続してください。

2. 電源スイッチ

このスイッチでユニットの電源オン/オフをしてください。

3. PON ポート

このポートは PON (Power over the NET™) ユニットとの接続に使用します。PON ユニットは KN9116 に接続されたコンピュータに対し、ネットワーク経由で電源管理を行うデバイスです。Power over the NET™の詳細については販売店までお問い合わせください。

4. コンピュータ側ポート

コンピュータに接続する KVM ケーブルはこちらに挿入してください。本スイッチに適合するように設計されたコネクタを持つケーブルのみが接続できます。詳細は P.13 をご参照ください。

5. LAN ポート

ネットワークへの接続に使用する LAN ケーブルはこちらに接続します。

6. ローカルコンソールポート

KN9116 はネットワーク経由のときと同様、ローカル接続したコンソールでも操作できます。ローカルコンソールの各コネクタはここに接続してください。各ポートは PC99 準拠のカラーリングが施されています。

セットアップの前に

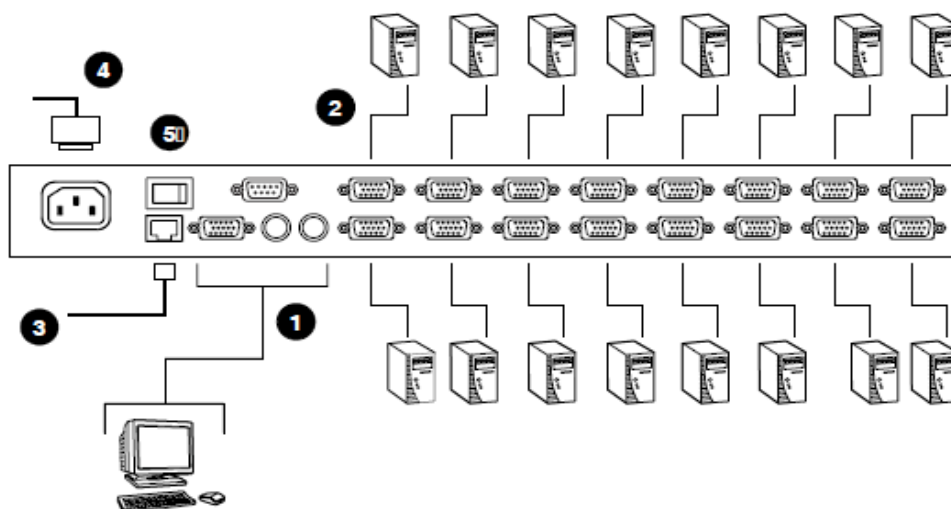


1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされているか確認してください。

KN9116 のセットアップは下記の手順に従って作業を進めてください。図の番号はそれぞれ作業順序に対応しています。

1. ローカル接続で使用するキーボード、マウス、モニタを KN9116 のローカルコンソールポートに接続してください。
2. KVM ケーブルセット(P.13 参照)を用いて、KN9116 のコンピュータポートと接続するコンピュータのキーボード、マウス、モニタの各ポートを接続してください。
3. LAN または WAN に接続されたネットワークケーブルを、KN9116 の RJ-45 ソケットに接続してください。
4. 電源ケーブルを KN9116 本体に接続した後に、電源コンセントに差し込んでください。
5. KN9116 の電源を入れてください。

KN9116 の電源がオンになったことを確認してから、接続した各コンピュータの電源をオンにしてください。



ホットプラグ

KN9116 はホットプラグに対応しています。コンポーネントのケーブル抜き差しやコンピュータの追加接続は、ユニットの電源をオフにすることなく行うことができます。

ただし接続するコンピュータの構成を変更した場合は、OSD 画面に変更後のポート情報を正しく反映させるために、手動でポートネームの編集を行わなくてはなりません。ポートネームの編集については P.30 をご参照ください。

注意:

お使いのコンピュータの OS がホットプラグに対応していない場合は、この機能は適切に動作しません。

ポート ID 番号

CPU ポートには個々にポート ID 番号が与えられています。ポート ID はコンピュータが接続されている CPU ポートに対応した 2 桁の数字になります。番号が 1 桁の場合は頭に 0 が付き、01 ~09 で表されます。例えばポート 6 に接続されたコンピュータのポート ID 番号は 06 です。

電源オフおよび再起動

KN9116 の電源をオフにする、もしくは再起動を行う必要がある場合は、電源をオフにしたあと 10 秒程待ってから電源の再投入を行ってください。接続されたコンピュータがこの操作で影響を受けることはありませんが、万が一何らかのエラーが発生した場合はコンピュータを再起動してください。

ポート選択

ポート切替えは、キーボードからのホットキーの組み合わせ、または OSD(オンスクリーンディスプレイ)からの入力によって可能です。ホットキー操作についての詳細は次の章を、OSD 操作についての詳細は第 4 章をご参照ください。

第 3 章

OSD 操作

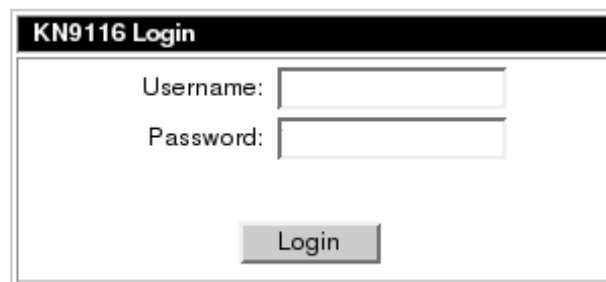
概要

この章では OSD メニューについての説明を行います。本章の説明にはアドミニストレーターおよび管理権限を与えられたユーザー（ユーザー管理 P.22 を参照）としてログインし、KN9116 についてのすべての設定を行うことができる状態の画面を用いて示しています。画面写真のタブがグレーで表示されている場合は、その他のユーザーが管理権限を持っていないことを示しています。

ローカルコンソール

KN9116 のハードウェアセットアップが終了したら、アドミニストレーターが行う最初の作業は各ユーザーの設定です。初回ログインのとき最も便利なのはローカルコンソールから行う方法です。

ローカルコンソールを接続して KN9116 の電源がオンになると、コンソールモニタにログインダイアログボックスが表示されます：



The image shows a login dialog box titled "KN9116 Login". It contains two input fields: "Username:" and "Password:". Below the input fields is a "Login" button.

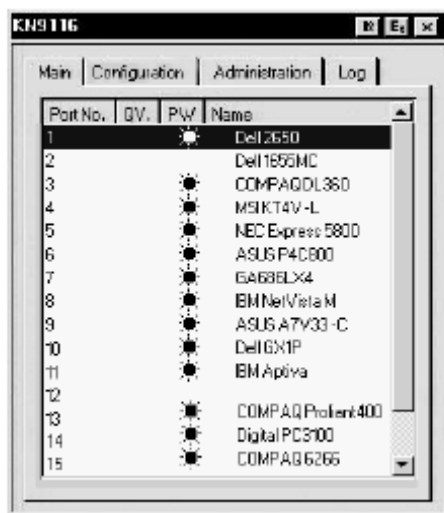
初回ログイン時には、デフォルトユーザーネームとパスワードを使用してください。

デフォルトユーザーネーム: administrator

デフォルトパスワード: password

セキュリティの面から、ユーザー管理機能（P.22 を参照）でデフォルトのユーザーネームとパスワードを変更し、任意のユーザーネームとパスワードに変更されることを強く推奨します。

ログインに成功すると、ローカルコンソール OSD が表示されます：



OSD メニューは 4 つのタブから構成されています。

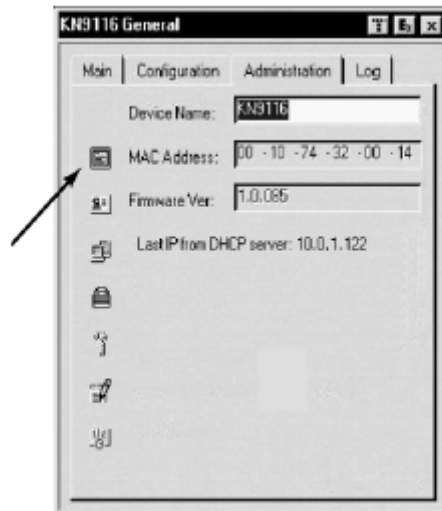
- ◆ administration タブはこの章の以降のページで説明します。
- ◆ Main および Configuration タブはポートアクセスを管理・操作するものです。この 2 つの内容は Windows クライアントおよび Java クライアントの OSD と同じです。第 5 章および第 6 章で説明します。
- ◆ Log タブはログファイルを表示します。ログファイルについては第 7 章で説明します。

OSD 画面上部のタイトルバーには 3 つのボタンがあります。

- ◆ 左のボタンは透明化ボタンです。このボタンを押すと OSD 画面が半透明になり、その OSD 画面背後にあるコンソールモニタを見ることができます。もう一度このボタンを押すと OSD 画面は通常の状態に戻ります。
- ◆ 真ん中のボタンを押すと OSD 画面を閉じ、KN9116 のセッションからログアウトします。
- ◆ 右のボタンを押すと OSD 画面を閉じますが、セッションからのログアウトは行われません。OSD ホットキー操作によりログイン作業を行わずに再び OSD 画面を呼び出すことができます (OSD ホットキー P.58 を参照)。

Administration タブ

Administration タブをクリックすると Administration ページが表示されます。管理機能はページ左側に縦に並んだアイコンで提供されます。アイコンをクリックするとメニューが表示されます。Administration ページを開くと General メニューが表示されます。



General

General メニューはユニットの情報を表示します。これはブラウザ経由でアクセスしたとき最初に表示されるメニューです。ブラウザページの左側最上部にある General アイコンをクリックしたときも同じ画面が表示されます。

Device Name: KN9116 ユニットに付けられた個別の名前を表示します。複数台の KN9116 を導入している環境でユニット識別を簡単にします。

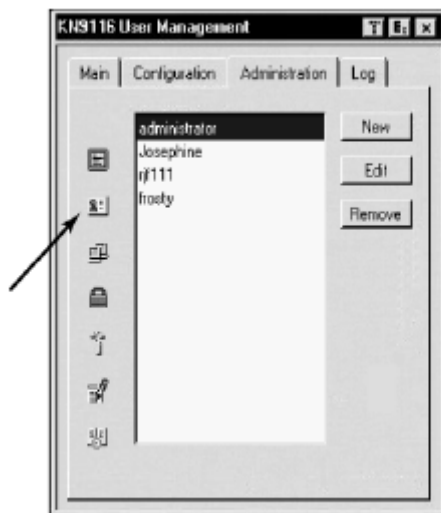
MAC Address: KN9116 の MAC アドレスを表示します。

Firmware Ver: 現在お使いのファームウェアバージョンを表示します。最新バージョンのファームウェアは ALTUSEN Web サイトにて入手できます。ファームウェアアップグレードについては P.32 をご参照ください。

ネットワークにおいて KN9116 の IP アドレスが DHCP によって割り当てられている場合、Last IP from DHCP server フィールドに IP アドレス情報が表示されます。

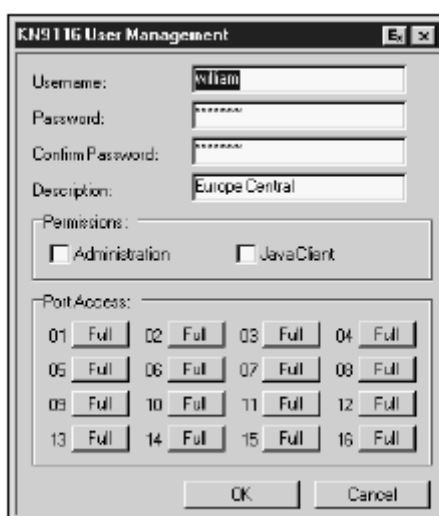
ユーザー管理

ユーザー管理ダイアログはユーザープロファイルの作成および管理を行います。最大 64 人までのユーザープロファイルが作成可能です。



- ◆ ユーザープロファイルの消去を行うときは、消去するユーザーネームを選択し、右側の「Remove」ボタンを押します。
- ◆ ユーザープロファイルを編集するときは、編集するユーザーネームを選択肢、右側の「Edit」を押します。
- ◆ ユーザーを追加するには、右側の「New」を押します。

「Edit」もしくは「New」を押すと、下のような画面が表示されます。

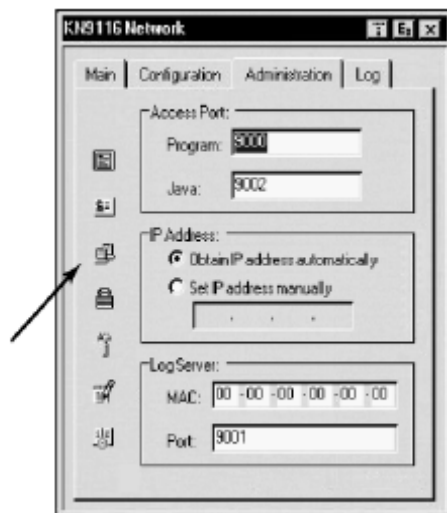


この画面で新規ユーザーもしくは既存のユーザー情報を編集します。各項目の詳細については次ページ表をご参照ください。

項目	説明
Username	英数字 6-15 文字で設定できます。
Password	英数字 8-15 文字で設定できます。
Confirm Password	パスワード確認のため再入力します。入力したパスワードは全く同じである必要があります。
Description	ユーザーについての追加情報をここに記録することができます
Permissions	<p>デフォルトでは Windows クライアントを使用するすべてのユーザーが KN9116 にアクセスすることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> Administration にチェックするとユーザーに KN9116 の管理権限を与えます。 Java Client にチェックを入れるとユーザーに Java クライアントからのアクセスを許可します。 <p>この機能はアドミニストレーターあるいはユーザーにポートレベルでのアクセス権限を設定します。</p> <p>それぞれのユーザープロファイルに対してポート番号のついたボタンを押すと以下のアクセス権限が循環して表示されます。</p>
Port Access	<p>Full: (フルアクセス) View: (ブラウズのみ) Null: (アクセス禁止 - これを選択すると、そのポートは該当ユーザーのメインスクリーンリストにも表示されなくなります)</p> <p>すべてのポートに対して同様にアクセス権限を設定してください。 デフォルトではすべてのユーザーがすべてのポートに対して Full で設定されています。</p>

ネットワーク

ネットワークメニューは KN9116 のネットワーク環境を設定するために使用します。



このメニューは Access Port、IP Address、Log Server の 3 つの部分から構成されています。

Access Port

セキュリティ対策としてファイアウォールが導入されている場合、管理者はファイアウォールが許可しているポート番号を環境に応じて指定することができます。ユーザーは KN9116 にログインするときにポート番号を指定する必要があります。もし無効なポート番号が指定された場合、KN9116 を検出することができません。

注意：

ファイアウォールが無い場合（例：イントラネット）は、この項目の設定が影響を及ぼすことはありません。

各フィールドの説明は以下の通りです：

フィールド	説明
Program	Windows クライアントソフトウェアから KN9116 に接続する場合に指定するポート番号をここで設定します。有効なエントリは 1024-60000 です。デフォルトでは 9000 になっています。
Java	Java クライアントが接続するポート番号です。有効なエントリは 0-65535 です。デフォルトでは 9002 になっています。

IP Address

KN9116 は DHCP によって動的に割り当てられる IP アドレスを取得、あるいは静的 IP アドレスを指定することができます。

- ◆ 動的 IP アドレスが割り当てられる場合には Obtain an IP address automatically にチェックを入れてください。
- ◆ 静的 IP アドレスを使用する場合には Set IP address manually にチェックを入れてください。

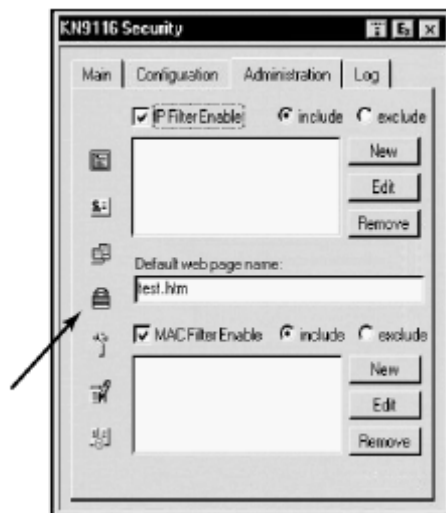
Log Server

ログインやシステムメッセージ等 KN9116 で起こる重要なイベントについては自動的にログファイルが作成されます。MAC アドレスとポート番号を指定するとログサーバがこのフィールドに表示します。

ログサーバの設定と操作については第 8 章で説明しています。ログファイルについては P.65 で説明しています。

セキュリティ

セキュリティメニューは KN9116 へのアクセスを管理します。



◆ **Default web page name** フィールドで管理者はユーザーがブラウザを使って KN9116 にアクセスするときに入力する web ページ名を指定することができます。ユーザーはここで指定された web ページ名および IP アドレスを入力しないと、KN9116 へのアクセスが許可されません。セキュリティの面から、この web ページ名を定期的に変更することを強く推奨します。

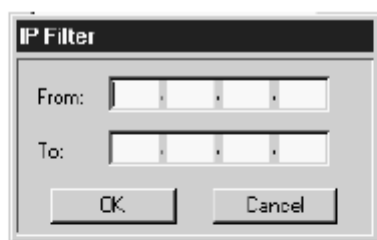
注意:

1. ここで web ページ名を指定しない場合、Windows クライアントを使用するすべてのユーザーが IP アドレスを指定するだけで KN9116 へアクセスすることができてしまい、重大なセキュリティ問題となる可能性があります。
2. ここでページ名を指定しない場合、Java クライアントが KN9116 へアクセスできません。

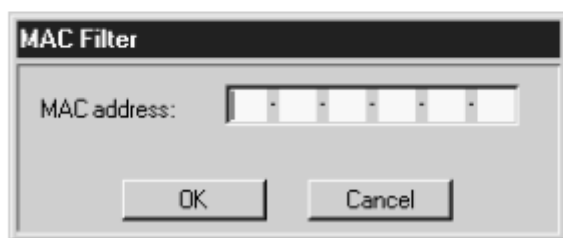
IP/MAC filter は KN9116 へアクセスを試みるコンピュータを IP/MAC アドレスレベルで制限します。最大 100 までの IP/MAC フィルターが指定可能です。IP/MAC フィルタリングを有効にするには、IP Filter Enable/MAC Filter Enable にチェックを入れてください。

- ◆ 「include」ラジオボタンにチェックが入っていると、フィルタリング範囲のすべての IP アドレスから KN9116 へのアクセスが許可されます。その他のアドレスはすべて拒否されます。
- ◆ 「exclude」ラジオボタンにチェックが入っているとフィルタリング範囲のすべての IP アドレスから KN9116 へのアクセスが拒否されます。その他のアドレスはすべて許可されます。

- ◆ フィルターを追加するには「New」ボタンを押してください。以下のようなダイアログボックスが表示されます。



The image shows a dialog box titled "IP Filter". It contains two input fields: "From:" and "To:". Each field is a four-digit grid with dots between the digits, representing an IP address. Below the input fields are two buttons: "OK" and "Cancel".



The image shows a dialog box titled "MAC Filter". It contains one input field labeled "MAC address:" which is a six-digit grid with dashes between the digits, representing a MAC address. Below the input field are two buttons: "OK" and "Cancel".

注意:

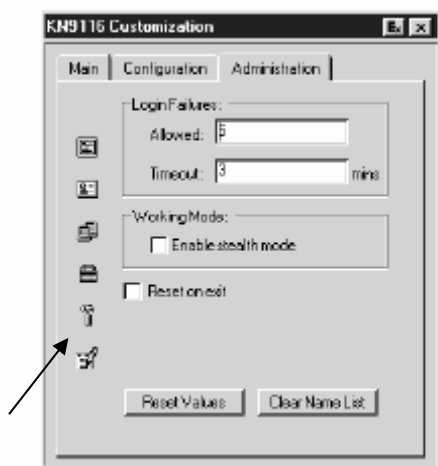
IP フィルターは単独指定、範囲指定どちらでも可能です。単独指定する場合は From と To の 2 つのフィールドに同じ番号を入力してください。連続する範囲の IP アドレスをフィルタリングするには From フィールドに始点のアドレスを、To フィールドに終点のアドレスを入力してください。

IP アドレスを入力したら、「OK」を押してください。

- ◆ フィルターを削除するには、削除するフィルターを選択して「Remove」を押してください。
- ◆ 既存のフィルターを編集する場合は、編集するフィルターを選択して「Edit」を押してください。New ダイアログボックスと同じような Edit ダイアログボックスが表示されますので、古いアドレスを削除して新しいアドレスを入力してください。

カスタマイズ

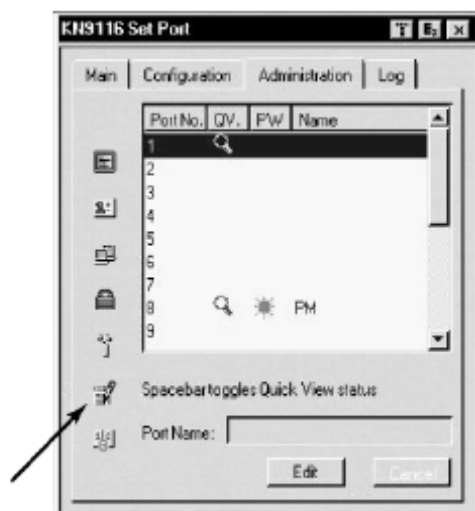
カスタマイズの各項目については以下の表をご参照ください。



パラメータ	説明
Login Failures	Allowed: リモートコンピュータからの連続したログイン失敗の上限回数を設定します。 Timeout: 連続したログイン失敗上限回数を超えた場合、該当するリモートコンピュータから再びログイン可能になる時間を設定します。
Working Mode	Stealth Mode を有効にすると、KN9116 に ping 不可になります。
Reset on exit	ここにチェックを入れてからログアウトすると、KN9116 をリセットし、設定に関するすべての変更を有効にします。リセットした後は再びログインするまで 30-60 秒ほどお待ちください。 注意: ネットワークダイアログボックスの IP アドレスを変更した場合、ログアウトする前にこのページを開いて Reset on exit を有効にしなくてはなりません。そうしないと変更が反映されません。
Reset Values	このボタンを押すとポートネームの編集を除く、設定・管理画面で行ったすべての変更をリセットし、工場出荷時の設定に戻します。ポートネームの変更については P.30 をご参照ください。
Clear Name List	この機能は Reset Values と似ていますが、異なる点はポートネームの設定を含むすべての設定変更をリセットし、工場出荷時の設定に戻します。

ポート設定

このメニューでは選択したポートをクイックビューポートとして選択/解除したり、それぞれにポート名を付けたり編集・削除を行ったりします。



クイックビューステータス

あるコンピュータポートをクイックビューポートとして選択すると、そのポートは KN9116 がオートスキャンモードで動作中にアクセスする対象となります。どのポートがクイックビューポートとなっているかはこのフィールドで確認することができます。

クイックビューポートの設定にはスペースキーを使用します。ポートを選択/解除するには、フィールドで該当ポートをハイライトし、スペースキーを押します。ポートがクイックビューポートとして選択されると、虫眼鏡マークがフィールドの「QV」列に表示されます。選択されていないポートは、虫眼鏡マークが表示されていません。

ポートネーム

ポートにどのコンピュータが接続されているか覚えやすくするために、すべてのポートに名前を付けることができます。このメニューはアドミニストレーターのみが作成、編集、消去可能です。

ポートネームを編集するには：

1. 上部フィールドで編集したいポートを選択します。
2. 「Edit」を押します。

ダイアログボックスの表示が変わり、Port Name エントリフィールドに入力できるようになります。



3. 新しいポートネームの入力や、古いポートネームの編集・削除を行います。

ポートネームは英数字で最大 19 文字までです。使用できる文字は以下の通りです。

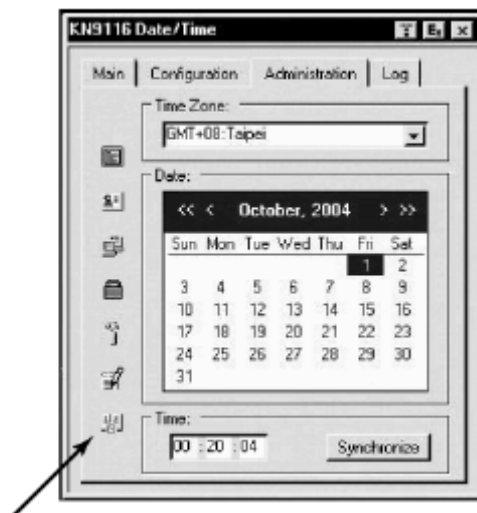
- ◆アルファベット： a - z ; A - Z
- ◆数字： 0 - 9
- ◆記号： + - / : . およびスペース

大文字・小文字は区別されません。OSD では入力された文字はすべて大文字で表示されます。

4. ポートネームの編集が終わったら「Update」を押してください。編集をキャンセルする場合は、「Cancel」を押してください。

日付・時刻の設定

Date/Time メニューで KN9116 の日付・時刻の設定を行います。



- ◆ タイムゾーンを設定するには、Time Zone のドロップダウンリストから設置された場所に最も近い都市を選択してください。
- ◆ 年月日を設定するには Date のカレンダー画面を使用します。
 - ・「<<」と「>>」で年を変更します。
 - ・「<」と「>」で月を変更します。
 - ・年と月を設定してから、日を設定してください。
- ◆ 時間の設定は HH:MM:SS(時:分:秒)で入力してください。
- ◆ 「Synchronizes」ボタンはローカルコンソールのみで使用できます。このボタンを押すと日付・時刻の設定をローカルコンソールからアクセスしているコンピュータの時計と同期します。

ファームウェアアップグレード

新しいバージョンのファームウェアが公開されたら、弊社 web サイトでダウンロードすることができます。

<http://www.altusen.com>

ファームウェアを最新の状態に保つためにも定期的に弊社 web サイトを確認してください。

注意:

OSD 操作の項目でファームウェアアップグレードについての説明をしていません。これは管理者が行う機能でもあるので、こちらの別項目にて説明します。

ファームウェアのアップグレードは以下の手順に従ってください。

1. KN9116 にローカル接続されているコンピュータ以外の端末に新しいファームウェアのファイルをダウンロードしてください。
2. ファイルをダウンロードしたコンピュータでブラウザを開き、KN9116 にログインしてください。
3. Firmware アイコン (P.34 参照) をクリックしてファームウェア設定ダイアログボックスを表示させます。



4. 「Browse」をクリックします。ファームウェアをダウンロードしたディレクトリを表示し、ファイルを選択します。
5. 「Upload」をクリックします。
6. アップロードが終了したら、Logout アイコンをクリックしてログアウトし、KN9116 をリセットしてください。

第 4 章

ブラウザ操作

概要

KN9116 のコンピュータ操作は OSD (オンスクリーンディスプレイ) インターフェースによって管理されます。OSD には Windows ベースのクライアント、Java ベースのクライアントでアクセスします。KN9116 への接続および OSD の呼び出しは web ブラウザを利用してのログインからスタートします。

ログイン

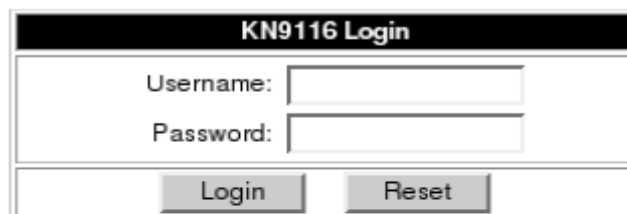
web ブラウザからログインするには：

1. ブラウザを開き、アクセスしたい KN9116 の IP アドレスをブラウザの URL バーに入力します。

注意：

もし IP アドレスがわからない場合、KN9116 の管理者に問い合わせてください。

2. Security Alert ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認してください。
3. 以下のようなログインページが表示されます：



KN9116 Login	
Username:	<input type="text"/>
Password:	<input type="password"/>
<input type="button" value="Login"/>	<input type="button" value="Reset"/>

ALTUSCN
Connect Without Limits™

4. KN9116 の管理者から提供された有効なユーザーネームとパスワードを入力し、「Login」をクリックしてください。

注意:

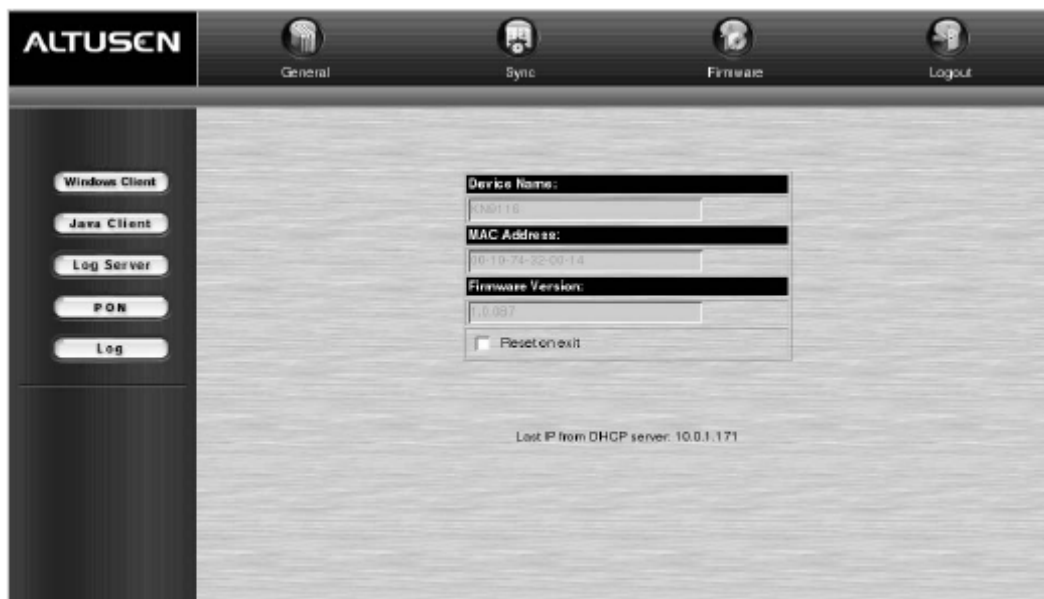
- 1) 無効なユーザーネームとパスワードを入力した場合、「Invalid Username or Password. Please try again.」という警告メッセージが表示されます。入力エラーが管理者によって設定された回数を超えると「The Page cannot be displayed」というメッセージが表示されます。これは悪意のあるアクセスが複数試行によって有効なユーザーネームとパスワードを発見することを防ぐためです。このメッセージが表示されたら KN9116 にログインしなおしてから、注意してユーザーネームとパスワードを入力してください。
- 2) administrator として初めてログインする場合には、デフォルトのユーザーネームとパスワードを使用してください。

デフォルトユーザーネーム: administrator

デフォルトパスワード: password

セキュリティの面から、デフォルトのユーザーネームとパスワードを変更してオリジナルのユーザーネームとパスワードを作成することを強く推奨します(P.22 のユーザー管理参照)。

ログインに成功すると KN9116 のメイン web ページが General メニューとともに表示されます。



注意:

この画面は web ページの左上部の General アイコンをクリックしたときと同じものです。

web ページレイアウト

General メニュー

メニューの各項目の説明は以下の通りです。

フィールド	説明
Device Name	KN9116 に接続された複数のコンピュータの識別を容易にするため、それら一台一台に名前をつけることができます。administrator 権限を持つユーザーのみがこのフィールドを使用することができます。
Mac Address	KN9116 の MAC アドレスはこのフィールドに表示されます。
Firmware Version	KN9116 の現在のファームウェアバージョンを示します。
Reset on Exit	KN9116 について何らかの設定・管理方法の変更を行った場合、ログアウトする前にここにチェックを入れて KN9116 をリセットしないと変更が反映されません。 注意: このチェックボックスは administrator 権限を持つユーザーのみが使用できません。

注意:

KN9116 の新しいファームウェアは弊社 web サイトよりダウンロードできます。詳細は P.32 をご参照ください。

web ページアイコン

web ページ上部のその他のアイコンの使用方法については以下の表をご覧ください。

アイコン	機能
Sync	このアイコンをクリックするとリモートコンピュータの時計と KN9116 の時計を同期させます。
Firmware	このアイコンをクリックすると KN9116 のファームウェアをアップグレードします。 注意: Firmware アイコンは administrator によって許可されたユーザーの画面にのみ表示され、許可されていないユーザーの画面には表示されません。
Logout	このアイコンをクリックするとログアウトして KN9116 のセッションを終了します。

web ページボタン

web ページ左側のボタンの使用方法については以下の表をご覧ください。

ボタン	機能
Windows client	KN9116 に接続されたコンピュータをリモートコントロールするための Windows クライアントソフトウェアをダウンロードします。
Java client	KN9116 に接続されたコンピュータをリモートコントロールするための Java クライアントソフトウェアをダウンロードします。プラットフォームから独立した Java クライアントの詳細については P.58 をご参照ください。
Log Server	このボタンをクリックすると管理者はログサーバアプリケーションをダウンロードし、インストールすることができます。ログサーバの詳細については第 8 章をご参照ください。
PON	Power over the NET™ (PON) モジュールが KN9116 に接続されている場合、このボタンをクリックして PON モジュールのインターフェースを呼び出すことができます。
Log	KN9116 で発生する重要なイベントはすべてログファイルに記録されます。このアイコンをクリックするとログファイルの内容を表示します。

第 5 章

Windows クライアント

OSD の起動

ログインに成功したら (P.33 参照)、Windows クライアント OSD を以下の手順で呼び出してください。

1. web ページ左側の Windows Client ボタンを押してください。

注意:

お使いのコンピュータに DirectX 7.0 以上がインストールされている必要があります。もしインストールされていないと、Windows Client が読み込まれません。DirectX は Microsoft 社のサイトから無料でダウンロードできます。

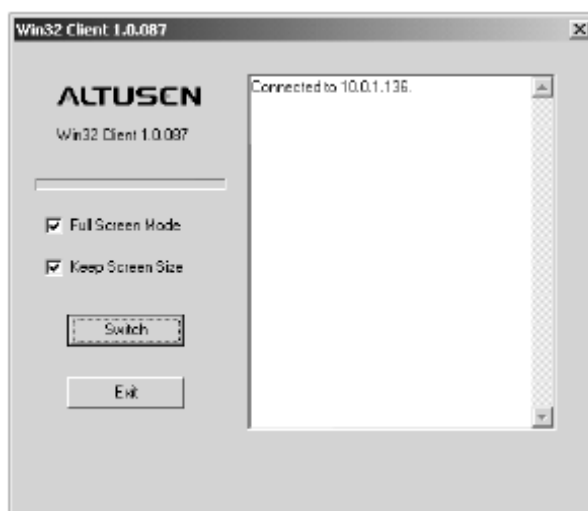
<http://www.microsoft.com/downloads>

2. セキュリティ確認をしてください。
3. ダイアログボックスが表示され、ファイルの処理をたずねてきますので、「Open」(開く)を選択してください。

注意:

- 1) ブラウザがファイルを開いて実行することができない場合は、任意のディレクトリに保存してください。それからブラウザで KN9116 の web ページを開いたまま、保存したファイルを実行してください。
- 2) ローカルディスクに保存してから実行する場合、セキュリティ上の設定によって以前にダウンロードしたプログラムをそのまま実行することはできません。KN9116 にアクセスするときには、毎回有効なユーザーネームとパスワードでログインし、新たにプログラムをダウンロードしてから実行してください。

4. KN9116 への接続が確立されると以下のようなウィンドウが表示されます。

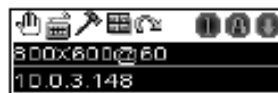
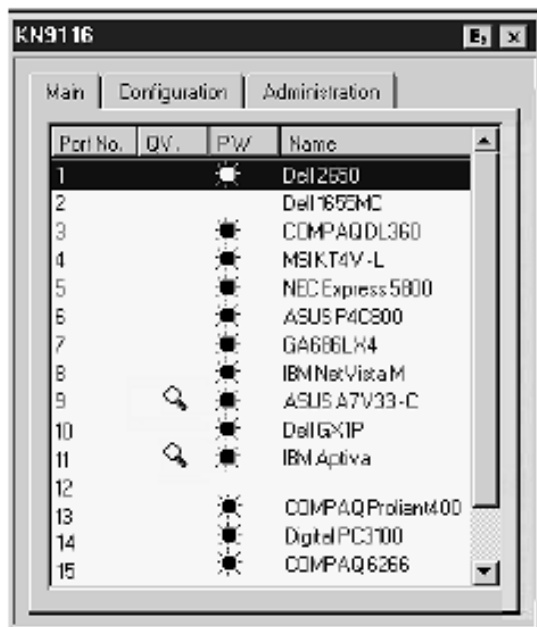


注意：

- 1) Full Screen Mode が有効(チェックボックスにマークが入っている)になっているとリモートディスプレイがローカルモニタで全画面表示されます。
- 2) Full Screen Mode が無効(チェックボックスが空白)になっていると、リモートディスプレイはローカルモニタにウィンドウ表示されます。もしリモート画面の設定がウィンドウより大きい場合は、ウィンドウ内で表示させたい部分にマウスポインタを近づければ画面がスクロールします。
- 3) Keep Screen Size が無効(チェックボックスが空白)になっていると、リモートスクリーンはローカルモニタの解像度に合わせてリサイズされて表示されます。
- 4) Keep Screen Size が有効(チェックボックスにマークが入っている)になっていると、リモートスクリーンはリサイズされません。
 - ・リモートスクリーンの解像度のほうが小さい場合、ローカルモニタの中央に表示されます。
 - ・リモートスクリーンの解像度のほうが大きい場合、中央の表示可能な部分のみが表示されます。スクリーン外の部分を表示したい場合は、表示させたい部分にマウスポインタを近づければ画面がスクロールします。

メインページ

OSD 画面が呼び出されると Main ページが最初に表示されます。



注意:

- 1) Administration タブは、管理権限を持っていないユーザーがアクセスしているときは表示されません。Administration タブの操作についての詳細は第 3 章をご参照ください。
- 2) OSD を呼び出すと、同時に右下に小さなクライアントプロトコルパネルが表示されます。このパネルについての詳細は P.45 をご参照ください。

ダイアログボックスの右上には 2 つのボタンが表示されています。

- ◆ 左のボタン (Ex) を押すと、OSD 画面を閉じて KN9116 のセッションからログアウトします。
- ◆ 右のボタン (×) を押すと OSD 画面は閉じますがログアウトはされません。ホットキー操作によりすぐに OSD 画面を呼び出すことができます。(P.58 の OSD ホットキーを参照)

Main Page には KN9116 のすべてのアクセス可能ポートがリスト表示されています。このフィールドで選択することによって任意のポートにアクセスすることができます。フィールドの各項目については下表をご参照ください。

項目	説明
Port No.	<p>この項目はコンピュータが接続されているポートのポート番号を示します。コンピュータにアクセスするには上下の矢印ボタンを押してハイライトバーを移動させ[Enter]キーを押すか、マウスで直接そのコンピュータ名をダブルクリックしてください。</p> <p>ポートが選択されると、リモートのビデオ出力がキャプチャーされてローカルのモニタに表示されます。また同時にローカルコンソールのキーボード・マウス入力もキャプチャーされてリモートシステムに送られます。</p> <p>注意: もしアクセス権のないポート(P.23 のポートアクセスを参照)を選択した場合、スクリーンには何も表示されません。</p> <p>ポート操作の詳細については次ページをご参照ください。</p>
QV	ポートがクイックビュースキャンとして選択されている場合(P.29 を参照)、虫眼鏡マークが表示されます。
PW	接続されたコンピュータが電源オンのとき、太陽マークが表示されます。
Name	ポート名前が付けられている場合(P.30 を参照)は、この項目に表示されます。

注意:

他のタブを表示させた後 Main ページに戻った場合、矢印ボタンでハイライトバーを動かせなくなることがあります。その場合は[Tab]キーを用いてハイライトバーを移動させてください。

ポート操作

OSD 画面でアクセスするポートを選択するには、上下の矢印ボタンでハイライトバーを移動させて[Enter]を押すか、マウスで直接コンピュータ名をダブルクリックします。ポートが選択されると、ローカルモニタにはリモートシステムの画面が表示され、ローカルコンソール入力のリモートシステムへ送られます。

OSD ツールバー

KN9116 操作を簡単にするため、OSD ツールバーが用意されています。ツールバーを呼び出すには、OSD ホットキー操作を行います(デフォルトは[Scroll Lock]2 度押し)。ツールバーは画面の左上部に表示されます。OSD ホットキーは[Ctrl]キーに変更することもできます。詳細は P.58 をご参照ください。



Port Display Mode の設定によってポート番号またはポートネームのどちらかがツールバーの右端に表示されます。

注意:










ツールバーが表示されると、マウス入力はツールバー領域内に取り込まれ、キーボード入力は無効になります。ポートに接続されたコンピュータの操作を継続するには OSD を再び呼び出してポートを選択しなおさなくてはなりません。

OSD 画面の再呼び出し

ツールバーを閉じて OSD 画面に戻るには、OSD ホットキー(デフォルトは[Scroll Lock])を 1 回だけ押します。ツールバーが画面から消えて、OSD の Main ページが表示されます。

ツールバーアイコン

ツールバーの各アイコンの説明は以下の表をご参照ください。

	このアイコンをドラッグするとツールバーを移動することができます。
	このアイコンをクリックすると最初のアクセス可能なポートに接続されたコンピュータに切替えます。
	このアイコンをクリックすると一つ前のアクセス可能なポートに接続されたコンピュータに切替えます。
	このアイコンをクリックするとオートスキャンモードになります。KN9116 は Scan Select 機能でオートスキャンに設定されたポートを自動的に切替えるようになります。これは手動でポートを切替える操作をしなくてもコンピュータの状態を監視することができます。
	このアイコンをクリックすると次のアクセス可能なポートに接続されたコンピュータに切替えます。
	このアイコンをクリックすると最後のアクセス可能なポートに接続されたコンピュータに切替えます。
	このアイコンをクリックすると OSD 画面を呼び出します。
	このアイコンをクリックするとツールバーを閉じます。
	このアイコンをクリックするとログアウトして Windows クライアントを終了します。

注意：

管理者はそれぞれのポートにどのユーザーがアクセス可能か、個別に設定することができます。詳細は P.22 のユーザー管理をご参照ください。

ホットキー操作

ホットキー操作によってポートに対する切替え操作を直接キーボードから行うことができます。KN9116 は以下のホットキー操作を用意しています。

- ◆ オートスキャン
- ◆ スキップモード

ホットキーは[A]および[P]がオートスキャン、矢印キーがスキップモードです。

注意:

ホットキーモードが有効になっているとき、ツールバーが表示されています。ホットキーを使用する場合はツールバーを閉じてください。

オートスキャン

オートスキャン機能は現在ログインしているユーザーがアクセス可能なすべてのポートを一定の間隔で自動的に切替え、監視することができます。アクセス可能なポートについては P.58 の Scan Select をご参照ください。

スキャンインターバルの設定

オートスキャンモードでポートを表示している時間の長さを設定するには、P.58 の Scan Duration の項目をご参照ください。

オートスキャンの呼び出し

オートスキャンを開始するには、[A]キーを押してください。オートスキャン機能は接続されたポートの最初から順番に表示を切替えていきます。ポート ID ディスプレイのの前に S の文字が表示されているポートは、そのポートがオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。

オートスキャンの一時停止

オートスキャンモードを実行している間、一時的に特定のポートを表示させておきたい場合は[P]を押してください。オートスキャンモードが一時停止されている間、表示しているポートのポートID番号の前にSの文字が点滅します。

特定のポート位置での一時停止機能は、復帰した際に停止した位置からスキャンを開始できるので、オートスキャンを一度終了して個別にアクセスするよりも便利です。またオートスキャンを一度終了させてしまうと接続されているポートの最初からスキャンが開始されます。一時停止状態からオートスキャンモードに復帰するには、[Esc]と[スペースキー]以外の任意のキーを押してください。一時停止した位置からスキャン再開します。

オートスキャンの終了

オートスキャンモードが実行されている間、キーボードの入力は基本的にサスペンド状態となっており、操作を受け付けません。キーボードを通常使用して、そのポートに接続されたコンピュータを操作するためにはオートスキャンモードを終了させなくてはなりません。オートスキャンモードを終了するには[Esc]または[スペースキー]を押してください。







スキップモード

スキップモードは手動でコンピュータを切替えて監視する機能です。オートスキャンモードがあらかじめ設定した間隔で自動的に切替えるのと違い、特定のポートを任意の時間表示させたままにしておくことができます。スキップモードホットキーは四つの矢印キーを使います。各キーの機能については以下をご参照ください。

- ← :現在のポートから最初のアクセス可能なポートに移動します。アクセス可能なポートについては P.58 の Scan Select をご参照ください。
- :現在のポートから最後のアクセス可能なポートに移動します。
- ↑ :現在のポートから次のアクセス可能なポートに移動します。
- ↓ :現在のポートから一つ前のアクセス可能なポートに移動します。

Windows クライアントコントロールパネル

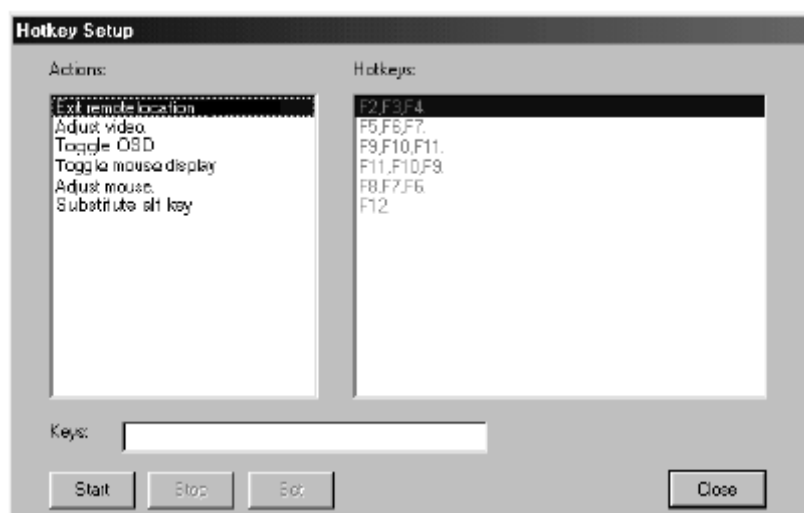
コントロールパネルは上部のアイコンバーとその下にある 2 行のテキストバーから構成されます。通常テキストバーはリモートシステムの VGA 解像度と IP アドレスを表示していますが、マウスポインタをアイコンバーの領域に移動させると、テキストバーには各アイコン機能の説明が表示されます。アイコンの機能については以下の表をご覧ください。

アイコン	機能
	ポインタをこのアイコンに合わせてドラッグすると OSD ディスプレイを移動させることができます。
	このアイコンをクリックするとホットキーセットアップダイアログボックスを表示させます。
	このアイコンをクリックすると VGA ユーティリティを表示させます。右クリックすると fast Auto Sync を実行します。詳細は P.49 をご参照ください。
	このアイコンをクリックするとパネルアレイモードを有効にします。詳細は P.51 をご参照ください。
	このアイコンをクリックすると Windows クライアントを終了します。
空白	アイコンバーの空白領域にポインタを合わせるとリモートシステムの VGA 解像度と IP アドレスが表示されます。
	この LED インジケータはリモートコンピュータの、左から順に Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の各ステータスを示します。アイコンをクリックすることでステータス変更をします。 注意: 初めて接続するとき、LED の表示はリモートの状態を正しく反映していません。最初に各アイコンをクリックしてステータスを同期させてください。

ホットキーセットアップ、VGA 解像度、パネルアレイ機能は次の章以降で説明しています。

ホットキー

キーボード、マウス、モニタに関する様々な設定機能はホットキーの組み合わせで提供しています。ホットキーセットアップユーティリティはコントロールパネルのキーボードアイコンをクリックすると起動します。可能なホットキー操作は左のフィールド「Actions」に、現在設定されているホットキーを実行するキーの組み合わせは右のフィールド「Hotkeys」に表示されています。



ホットキー操作の説明は以下の表をご参照ください。

ホットキー操作	説明
Exit remote location	KN9116 との接続を終了しローカルコンピュータの操作に戻ります。
Adjust Video	VGA ユーティリティを呼び出します。
Toggle OSD	OSD 画面のオン/オフを切替えます。
Toggle mouse display	ディスプレイ上に 2 つのマウスポインタ(ローカルおよびリモート)が表示されて作業がしにくい場合、この機能を用いてアクティブでないポインタを作業の邪魔にならない程度に小型化することができます。ポインタを小型化しているときにホットキー操作をもう一度行うと、もとの状態に戻すことができます。
Adjust mouse	この機能は、VGA 解像度の変更に合わせてローカルとリモートのマウスポインタを同期します。このホットキー操作を行った後、ローカルとリモートのマウスポインタを重ね合わせてシングルクリックすると同期が完了します。
Substitute Alt key	接続が確立されている場合基本的にキーボードからの入力はすべてキャプチャーされて KN9116 へ送られますが、[Alt] + [Tab]と [Ctrl] + [Alt] + [Del]の入力だけはローカルシステムへ働きます。この 2 つの入力をリモートシステムに対して有効にするには、[Alt]キーの代わりにファンクションキーを割り当てることで解決しています。デフォルトは[F12]キーになっており、それぞれ[F12] + [Tab]、[Ctrl] + [F12] + [Del]となります。

注意:

ホットキーの各機能を実行する場合、キーは必ず順番に一つずつ入力し、同時に押さないようにしてください。

ホットキー組み合わせ

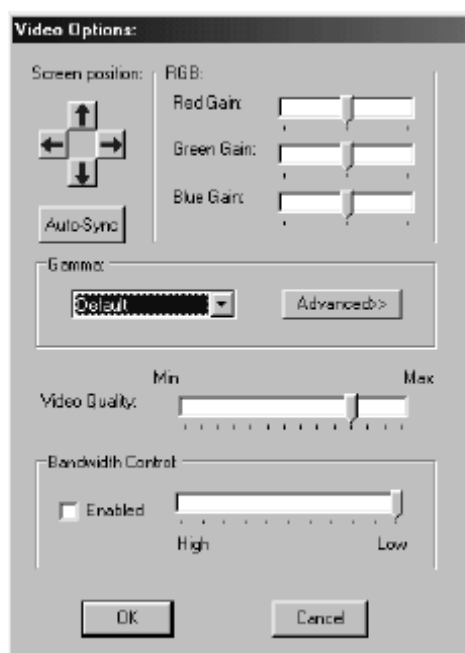
もしデフォルトのホットキーの組み合わせに不都合がある場合、以下の手順で任意のキーに変更することができます。

1. 変更したい Action をハイライトさせ、「Start」を押します。
2. 任意のファンクションキーを順番に入力すると、「Keys」フィールドに押したキーが表示されます。
3. 変更後のキー組み合わせを入力し終わったら「Stop」をクリックします。
4. 「Set」をクリックします。
5. ほかに変更したい Action に対しても同様な手順で変更します。

注意: 同じ組み合わせのファンクションキーでも、入力するキーの順番を変えることによって複数の Action を割り当てることもできます。例えば F1,F2,F3 と F2,F1,F3 と F3,F2,F1 は異なるホットキーとみなされます。

VGA ユーティリティ

Video Options 機能では、リモートシステムのモニタに表示されているリモート画面の位置や画質を調節することができます。調節を行うには、コントロールパネルのハンマー型アイコンをクリックするか、Adjust Video ホットキー (P.47 参照) を使用して、以下の画面を表示させます。



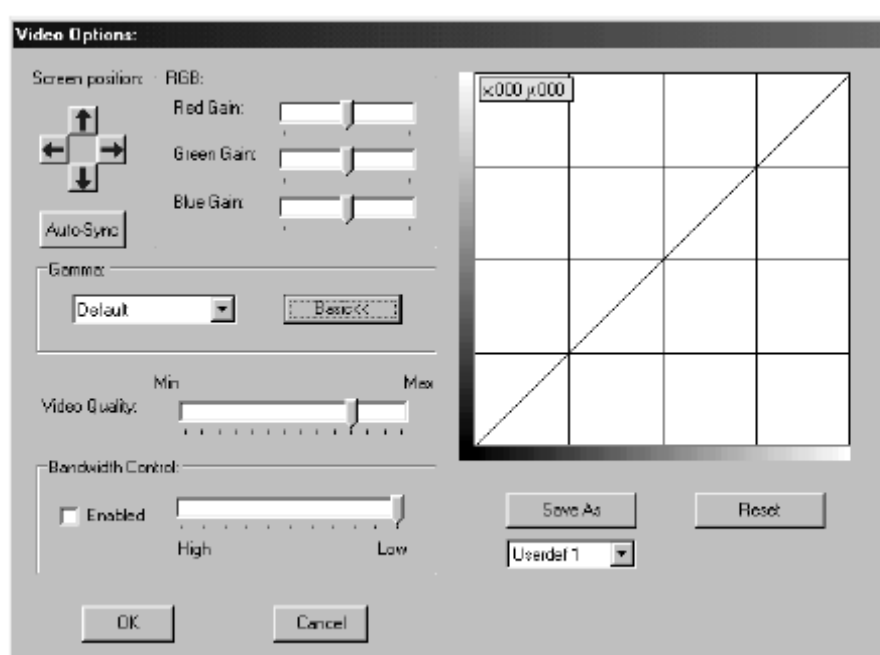
オプション	説明
Screen Position	矢印ボタンを押して、リモートコンピュータウィンドウの水平・垂直位置を調節します。
Auto-Sync	<p>「Auto-Sync」ボタンをクリックするとリモートスクリーンの解像度を特定しローカルスクリーンに合わせ自動的に調節して表示します。</p> <p>リモートとローカルのマウスポインタの同期が失われた場合、この機能を使用して元に戻すことができます。 <small>注意:この機能は高輝度の状態で効果を発揮します。</small></p> <p>自動調節の結果に満足できないときは、Screen Position 機能を使用して手動で調節してください。</p>
RGB	スライドバーをドラッグして RGB を変更します。RGB 量を変更するとそれに対応して色合いが変更されます。
Gamma	ビデオディスプレイのガンマ値をを調節します。この機能の詳細については次ページ Gamma Adjustment で説明します。
Video Quality	スライドバーをドラッグして全体的なビデオクオリティを調節します。値は 20~100 です。大きい値ほど鮮明な画像が転送されますが、ネットワークの負荷も大きくなり、レスポンスに影響を与える可能性があります。
Bandwidth Control	この設定は画質とネットワーク速度の比率を調節します。低速で接続しているときは、パフォーマンス向上のためスライドバーを Low の方へ移動させてデータ転送量を減らしてください。

ガンマ値調節

リモートディスプレイでガンマ値を調整する必要がある場合は、ビデオアジャストメニューの Gamma 機能を使用します。

「Basic」設定以外に、7つのプリセット値が用意されています。ドロップダウンリストから最も適した設定を使用してください。

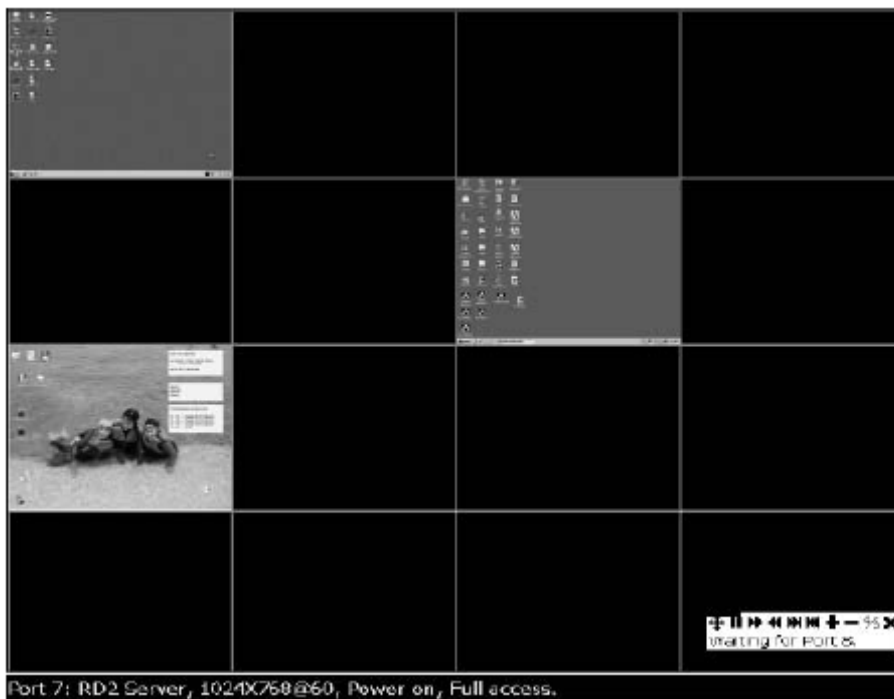
より高度な設定を行う場合は、Advanced ボタンを押してください。以下のようなウィンドウが表示されます。



- ◆ 右側のスクリーンに表示されている対角線をドラッグしてディスプレイ出力を調整してください。
- ◆ 「Save As」ボタンを押すと、変更した設定を保存します。保存された設定は以後リストボックスから呼び出すことができます。
- ◆ 「Reset」ボタンを押すとすべての変更をキャンセルし、ガンマラインは本来の位置に戻ります。
- ◆ 「Ok」ボタンを押すと、変更した設定を保存し、メニューを閉じます。
- ◆ 「Cancel」ボタンを押すとすべての変更をキャンセルし、メニューを閉じます。

パネルアレイモード

コントロールパネルのパネルアイコンを押すと、パネルアレイモードが起動します。このモードではモニタが最大 4 マス × 4 マスの 16 分割で接続されているコンピュータの画面を表示することができます。



- ◆ それぞれのパネルは KN9116 のポートに対応しています。一番左上から右に向かってポート 1、ポート 2、上から 2 段目左からポート 5、6…、という順序で並んでいます。
- ◆ パネルアレイモード初回起動時、設定ページの Scan Select 機能 (P.58 参照) で Auto Scanning として選択されたポートを自動でスキャンし、画面下にポートネーム/解像度/オンラインステータス/ポートアクセスステータスの各状態を表示します。
- ◆ パネルアレイモードで表示されるパネル数 (4 × 4=16、3 × 3=9、2 × 2=4、1) は、パネルアレイツールバーの「Show More Ports」、「Show Fewer Ports」をクリックすることで変更できます。
- ◆ ポートに接続されたコンピュータが電源オンの場合は画面がパネルに表示されます。電源がオフの場合、パネルには何も表示されません (ブランク)。
- ◆ 現在ログインしているユーザーがアクセス可能なポートだけがパネルに表示されます。アクセス権が無いポートに対応したパネルには何も表示されません。
- ◆ マウスポインタをパネル上に移動させると、そのパネルに対応したポートの情報が画面下に表示されます。

◆ マウスポインタをアクセスしたいポートに対応したパネルの上に移動させてクリックすると、そのポートにアクセスできます。

◆ 画面右下にあるパネルアレイツールバーの各アイコンの説明は以下の通りです。



アイコン	説明
	ツールバーを移動します。
	スキャンを一時停止します。
	次のポートへ移動します。
	前のポートへ移動します。
	4 つ先のポートへ移動します。
	4 つ前のポートへ移動します。
	表示ポートを増やします。(1→4→9→16 分割)
	表示ポートを減らします。(16→9→4→1 分割)
	画面を 4:3 比率に固定します。
	パネルアレイモードを終了します。
Waiting for Port 4.	スキャン情報

キーボード/マウスについて

キー入力

[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の組み合わせを除いて、すべてのキーボード入力はキャプチャーされ、リモートコンピュータに対して実行されます。上記の2つの組み合わせはローカルシステムにおけるアプリケーション切替えおよびシステムの問題解決のために保持されています。リモートシステムに対して[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の機能を実行したい場合には、任意のファンクションキー（[F1]から[F12]までいずれも可）が[Alt]キーの代わりに設定できます。デフォルトでは[F12]キーになっています。

例えば[F12]を使用する場合、[F12] + [Tab]によってリモートシステムのアプリケーション切り替えが可能で、[Ctrl] + [F12] + [Delete]で強制終了等の機能呼び出すことができます。[Alt]代替キーの詳細は P.47 のホットキー組み合わせの設定をご参照ください。

注意:

- 1) ファンクションキーのいずれかが[Alt]代替キーとして設定されている場合、絶対にそのキーを他の機能呼び出しに割り当てないでください。
- 2) KN9116 が Win98 のフルスクリーンモードで実行されている場合、間違って[Ctrl] + [Alt] + [Delete]を押してしまった場合は Windows クライアントを終了しなくてはなりません (Windows クライアントコントロールパネルの矢印アイコンを押してください)。Windows クライアント終了後、KN9116 メイン web ページのステップから再度ログインの操作を行ってください。

マウス同期

KN9116 との接続を閉じるまで、マウス入力はすべてキャプチャーされてリモートシステムに送られ、ローカルシステムに対して完全に無効になります。

時折、特に VGA 解像度を変更した場合など、ローカルでのマウス操作とリモートシステムのマウスポインタの挙動が一致しない状況が起こることがあります。このような場合にマウス入力を同期させる方法が 3 つあります。

- 1) マウスポインタをコントロールパネル上まで移動させ、それからパネル外へ移動させます。
- 2) ビデオアジャスト機能の Auto Sync を実行します。(P.47 の Adjust Video を参照)
- 3) Adjust Mouse 機能を実行します (P.47 の Adjust Mouse を参照)

以上のどの方法でも問題が解決しない場合は、ローカルコンピュータのマウス動作に関する設定が原因である可能性があります。次ページの図に従って設定を変更してください。

【 Windows 2000／Me 】

[スタートボタン] → [設定] → [コントロールパネル] → マウスのプロパティ を開きます。
“ 動作 ” タブを開きます。

以下のように設定します。

速度	中間
加速	なし
既定のボタンに移動	チェックをはずす



次に、画面上で四隅をなぞるように動かすと、マウスポインタが同期されます。

【 Windows XP / Server 2003 】

[スタートボタン] → [設定] → [コントロールパネル] → マウスのプロパティ を開きます。
“ ポインタオプション ” タブを開きます。

以下のように設定します。

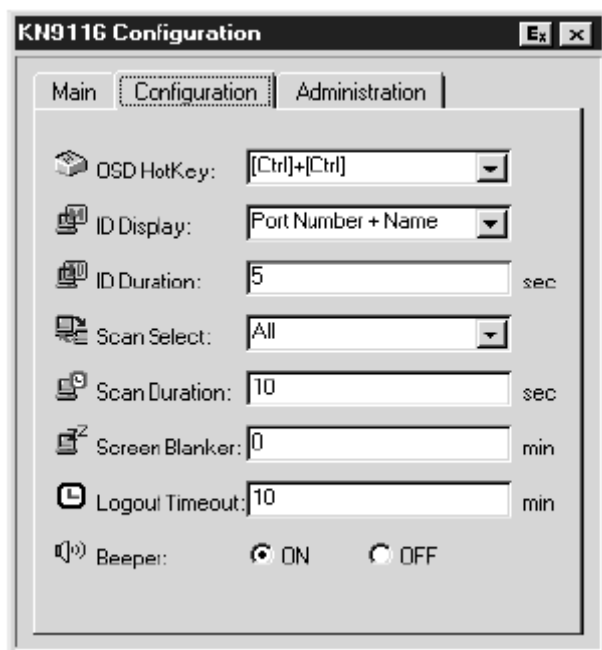
速度	中間に設定 「ポインタの精度を高める」のチェックをはずす
動作	チェックをはずす
表示	すべてのチェックをはずす



次に、画面上で四隅をなぞるように動かすと、マウスポインタが同期されます。

KN9116 OSD 設定メニュー

OSD 画面の Configuration メニューでは、各ユーザーが個別にオリジナルの使用環境を設定することができます。KN9116 はそれぞれのユーザープロファイルにおいて個別の設定を保存するので、各ユーザーのログイン時にその設定が再現され、カスタマイズされた便利な環境を提供します。



設定ページの各項目については次ページの表をご参照ください。

設定項目	機能
OSD Hotkey	<p>OSD 機能呼び出すホットキーを選択します： [Scroll Lock] 2 度押し [Ctrl] 2 度押し の 2 種類が用意されています。[Ctrl]を使うと他のアプリケーション使用の上で不具合が起こる場合があるため、デフォルトでは[Scroll Lock]になっています。</p>
ID Display	<p>ポート ID ディスプレイの表示方法を選択します：</p> <p>ポート番号のみ (PORT NUMBER) ポート名のみ (PORT NAME) ポート番号とポート名 (PORT NUMBER + PORT NAME)</p> <p>の 3 種類が用意されています。デフォルトではポート番号とポート名 (PORT NUMBER + PORT NAME) です。</p>
ID Duration	<p>ポートチェンジ後にポート ID がモニタに表示されている時間を設定します。1～255 秒の間で設定できます。デフォルトは 3 秒です。</p>
Scan Select	<p>オートスキャンモード (P.42、43 参照) でアクセスするコンピュータを選択します。選択は：</p> <p>ALL: すべてのポートにアクセス POWERED ON: アクセス可能かつ電源がオンになっているポートのみ QUICK VIEW: アクセス可能かつクイックビューポートとして選択されたポートのみ QUICK VIEW + POWERED ON: アクセス可能かつクイックビューポートとして選択されており、電源オン</p> <p>デフォルトでは ALL になっています。</p>
Scan Duration	<p>オートスキャンモードで動作中、各ポートを表示するインターバル時間を決定します。1～255 秒の間で設定してください。デフォルトでは 5 秒になっています。0 秒で設定すると、オートスキャンモードが無効になります。</p>
Screen Blanker	<p>一定時間以上コンソールからの入力がない場合に、スクリーンをブランクにします。1～30 分の間で設定してください。0 分で設定すると、この機能は無効にします。デフォルトでは 0 分になっています。</p>
Logout Timeout	<p>一定時間以上コンソールからの入力がない場合に、ログイン中のオペレータを自動的にログアウトさせます。このタイムアウト機能でログアウトすると、KN9116 にアクセスするには再びログインする必要があります。</p>
Beeper	<p>ON に設定すると、ポート変更時/オートスキャンモードが有効になった時/OSD メニューで無効なエントリが入力された時にビーブ音が鳴ります。デフォルトは ON になっています。</p>

第 6 章

Java クライアント

OSD の起動

ログインに成功した後(P.33)、Java クライアント OSD を起動するには以下の手順に従って操作してください:

1. KN9116 の web ページ左側にある Java Client ボタンを押してください。

注意:

Java クライアントを使用するには、お使いのコンピュータに Sun 社の Java2 JRE1.4 以降がインストールされている必要があります。お持ちでない場合は、Sun 社のサイトより無料でダウンロードできます。

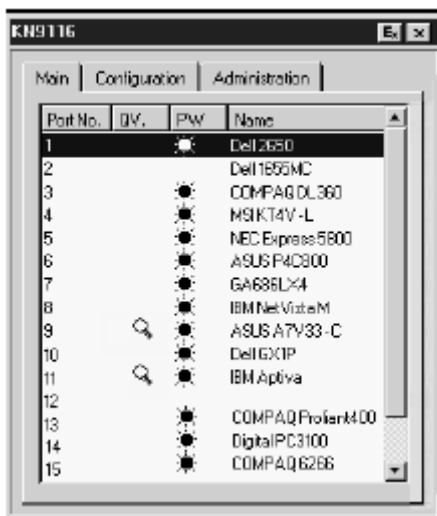
<http://java.sun.com/>

2. セキュリティに関する確認が表示されます。
3. ダイアログボックスが表示され、プログラムの処理を決定します。

注意:

- 1) ブラウザから直接プログラムを実行することができない場合、一度ローカルディスクに保存してから実行してください。その場合、ブラウザ画面は KN9116 の web ページを開いた状態で実行するようにしてください。
- 2) ローカルディスクから実行する方法では、セキュリティの面から以前にダウンロードしたプログラムをそのまま使用することは避けてください。KN9116 にアクセスする毎に新しいプログラムを入手して実行してください。

OSD が起動したら、メイン画面がローカルモニタの中央に表示されます。



この画面は Windows クライアント起動時に表示される OSD メイン画面と同じものです。このメイン画面の各項目についての詳細は P.39 の Windows クライアント メインメニューの章をご参照ください。

Java クライアント コントロールパネル

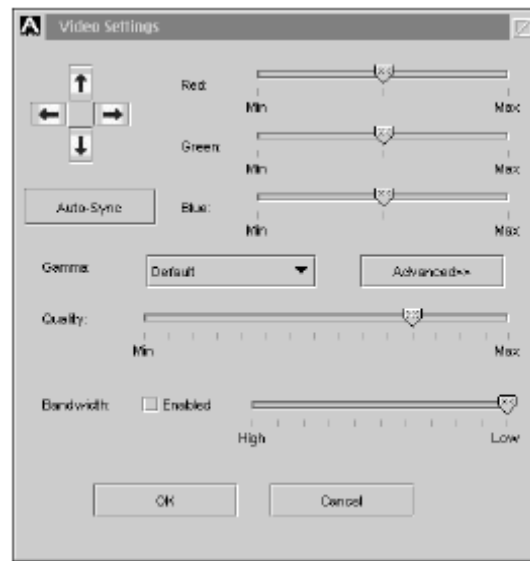
Windows クライアントのコントロールパネルとは違い、通常 Java クライアントのコントロールパネルは画面下部中央に隠れています。マウスポインタをその位置まで移動させると下図のようなコントロールパネルが表示されます。



各ボタンの機能については次ページから個別に説明します。

ビデオアジャスト（歯車ボタン）

左端の歯車ボタンをクリックするとVGA ユーティリティが表示されます。



設定方法は Windows クライアントの VGA ユーティリティの説明に準じます。詳細については P.48 をご参照ください。

キーボード（キーボードボタン）

ローカルでのいくつかのキーボード入力はキャプチャーされず、KN9116 へ送られません。これらのキーの入力をリモートシステムに対して行いたい場合、キーボードボタンをクリックしてください。キーパッドが表示されるので、ボタンを押すことによってそのキーの代わりに使用することができます。



マウス（マウスボタン）

時折、ローカルのマウスポインタとリモートのマウスポインタの挙動が同期を失う場合があります。このようなときにはマウス同期機能で正常に戻します。ポインタの同期には以下の2つの方法があります。

1. マウス同期ボタンをクリックすると、リモートのマウスポインタがスクリーン左上部に移動します。その後ローカルのマウスポインタを左上に移動したリモートマウスポインタに重ね合わせ、左クリックしてください。ポインタが同期します。
2. ローカルのマウスポインタを Java クライアント コントロールパネルの上に移動させ、左クリックします。

Lock キー LED（中央上段）

コントロールパネル中央にはリモートシステムの Lock キーの状態を示す LED が表示されています。左から順にそれぞれ Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の状態を示しています。LED がグリーンの際は Lock が ON です。マウスポインタを LED 上に合わせてクリックするとオン/オフを切り替えます。

注意：

KN9116 に始めて接続したとき、LED はリモートシステムの Lock 状態を正しく反映していません。LED を一つ一つクリックして同期してください。










VGA 解像度（中央下段）

リモートシステムの VGA 解像度が Lock LED の真下に表示されています。

パネル

クリックするとパネルアレイモードを有効にします。パネルアレイツールバーは一部を除き、Windows クライアントのものとほとんど同じです。Java クライアントのパネルアレイツールバーは以下のようにになっています。



アイコン	説明
	一時停止
	4 つ前のポートへ移動します。
	前のポートへ移動します。
	次のポートへ移動します。
	4 つ先のポートへ移動します。
	表示ポートを増やします。(1→4→9→16)
	表示ポートを減らします。(16→9→4→1)
	画面を 4:3 比率に固定します。
	パネルアレイモードを終了します。

注意:

一時停止をクリックすると、パネルアレイモードはスキャンを一時停止します。そのときボタンは矢印型に変わり、レジュームボタンになります。スキャンを再開するにはもう一度ボタンを押してください。

クエスチョンマーク

このボタンをクリックするとオンラインヘルプ画面が表示されます。

Exit (ドアボタン)

Exit をクリックするとパネルアレイモードを終了します。

ポート操作

Java クライアントのポート操作は Windows クライアントに準じます。操作の詳細については P.41 をご参照ください。

ホットキー操作

Java クライアントのホットキー操作は Windows クライアントに準じます。操作の詳細については P.43 をご参照ください。

設定ページ

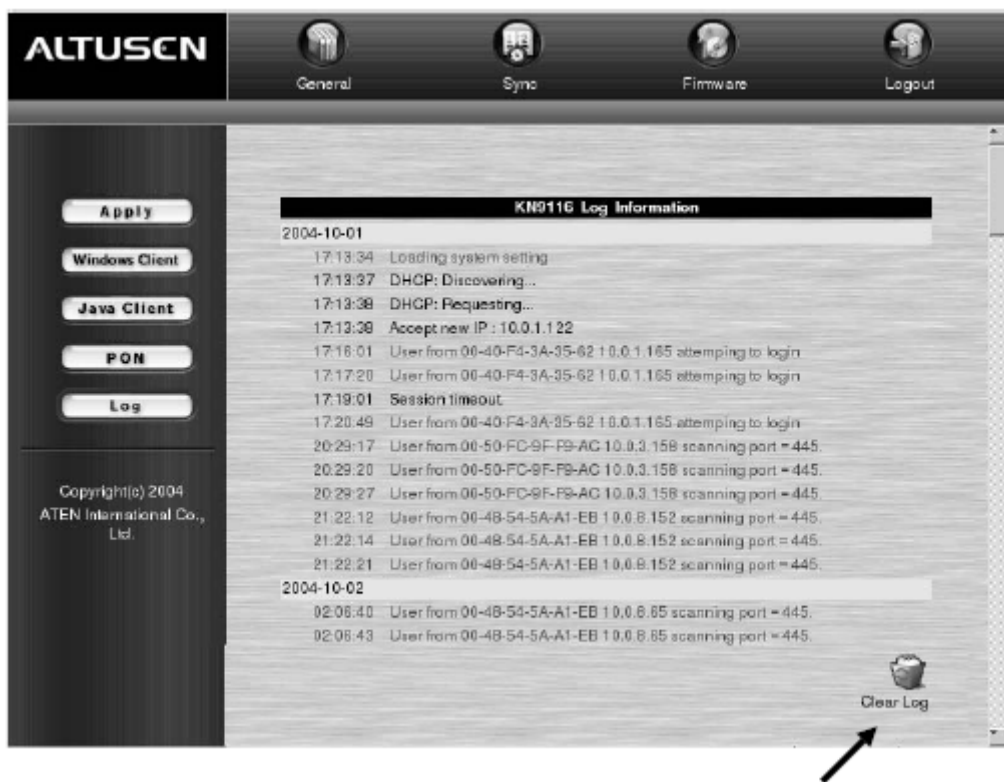
Java クライアント設定ページの内容は Windows クライアントに準じます。各項目の詳細については P.57 をご参照ください。

第 7 章

ログファイル

メイン画面

KN9116 は発生するすべてのイベントを記録して、検索可能なデータベースとなるログファイルを作成します。ログファイルの内容を参照するには、web ページ左側の Log ボタンをクリックします。クリックすると以下のような画面が表示されます。



ログファイルをクリアするには、画面右下の Clear Log アイコンをクリックします。

第 8 章

ログサーバ

Windows ベースのログサーバは、KN9116 で発生するイベントを検索可能なデータベースとして記録し、ログファイルを作成する管理機能です。本章ではログサーバのインストールと設定について説明します。

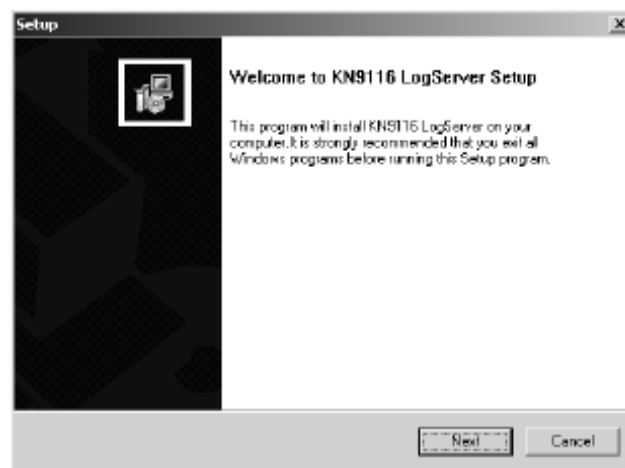
インストール

1. ログサーバとして使用したいコンピュータでブラウザを開き、KN9116 にログインします (P.33 をご参照ください)。
2. web ページの左側にある Log Server ボタンをクリックして、ログサーバインストールプログラムを実行します。
3. プログラムファイルの処理をたずねるダイアログボックスが表示されますので、「Open」をクリックしてください。

注意:

もしブラウザから直接プログラムファイルを実行することができない場合、一度ローカルディスクに保存してから実行してください。

ログサーバインストール画面が表示されます。

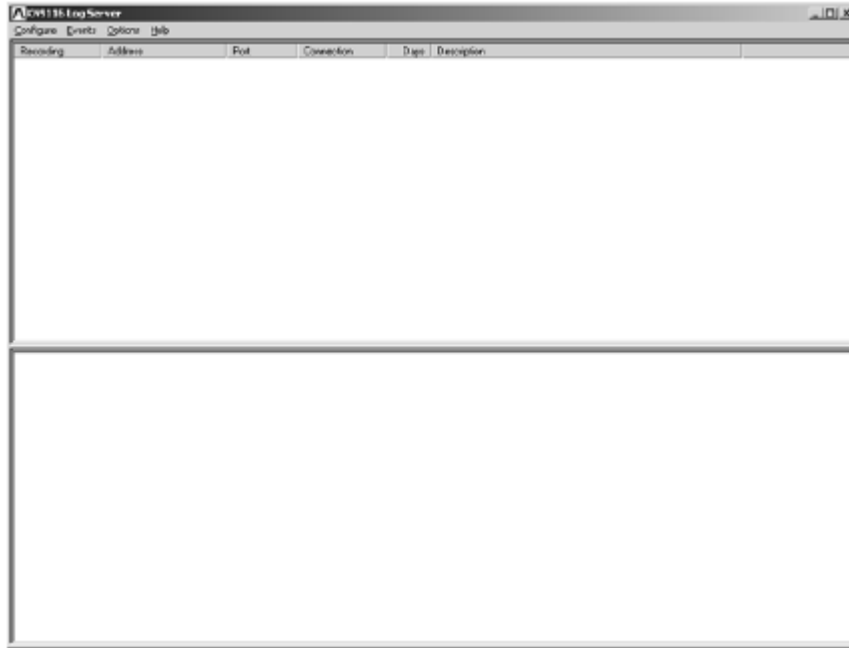


4. 「Next」をクリックし、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。作業が完了すると Log Server プログラムのアイコンがデスクトップに作成されます。

はじめに

ログサーバを起動するにはデスクトップに作成されたプログラムアイコンをダブルクリックするか、コマンドプロンプトでプログラムのフルパスを入力します。

初回起動時にはこのような画面が表示されます。



スクリーンは 3 つの部分から構成されています。

- ◆ 上部メニューバー
- ◆ KN9116 の構成リスト表示フィールド(上部パネル)
- ◆ イベントリスト表示フィールド(下部パネル)

注意:

アドミニストレーターユーティリティの Network ページで、ログサーバとして使用するコンピュータの MAC アドレスを指定している必要があります。

それぞれの内容については次ページ以降で説明します。

メニューバー

メニューバーは Configure/Events/Options/Help の 4 つの項目で構成されます。

注意:

メニューバーが非アクティブになっている場合は、リストウィンドウをクリックしてアクティブにしてください。

Configure

Configure メニュー内には Add/Edit/Delete の 3 つの項目があります。これらはそれぞれ

Add: KN9116 リストに新たにユニットを追加するとき

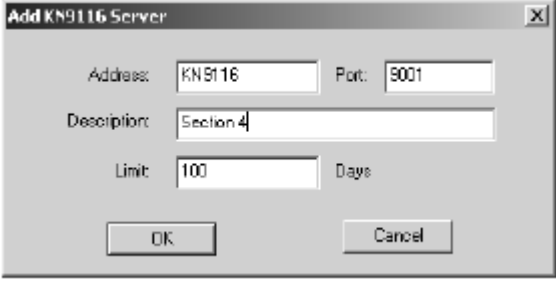
Edit: すでにリストにある KN9116 ユニットの情報を編集するとき

Delete: リストから KN9116 ユニットの削除するとき

に使用します。

- ◆ 新たに KN9116 ユニットのリストに追加するときは、Add をクリックします。
- ◆ すでにリストにある KN9116 を編集したり削除したりするときは、最初にリストウィンドウから当該 KN9116 を選択し、それからメニューバーで Configure メニューを開き、「Edit」あるいは「Delete」をクリックします。

Add あるいは Edit を選択すると、このようなダイアログボックスが表示されます。



The image shows a dialog box titled "Add KN9116 Server". It contains the following fields and values:

Field	Value
Address	KN9116
Port	9001
Description	Section 4
Limit	100
Days	

Buttons: OK, Cancel

ダイアログボックスの各フィールドの説明は以下の通りです。

フィールド	説明
Address	KN9116 の IP アドレスまたはドメイン名 (ネットワーク管理者がドメイン名を与えている場合) のどちらかが表示されます。
Port	KN9116 に与えられたポート番号が表示されます (P.24 参照)。
Description	このフィールドは、ユニット識別を容易にするためにユニット個別の情報を書き込めるようになっています。
Limit	ログサーバのデータベースにイベントログが保存される日数を設定します。

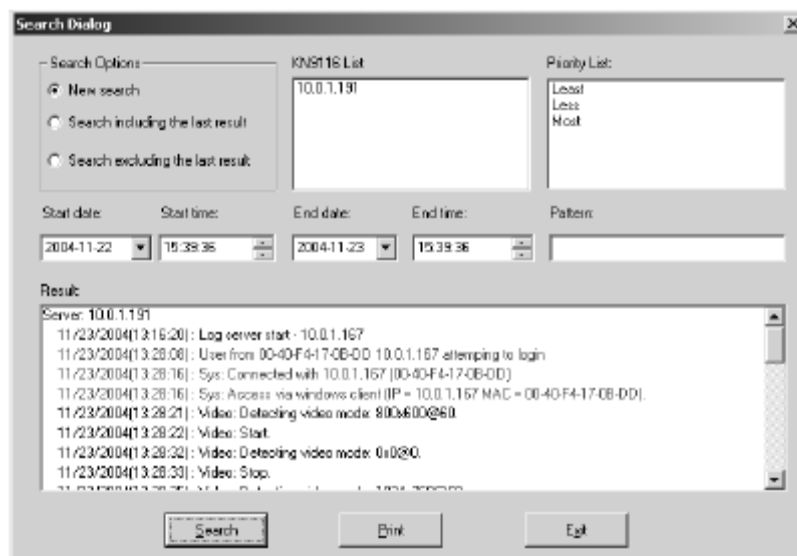
フィールドに入力または編集をしたあと、「OK」を押すと完了します。

Events

Events メニューには Search/Maintenance の 2 つの項目があります。

Search :

Search メニューは、単語や条件を指定してイベントログを検索します。この機能呼び出すと、以下のような画面が表示されます。



各項目の説明は以下の通りです。

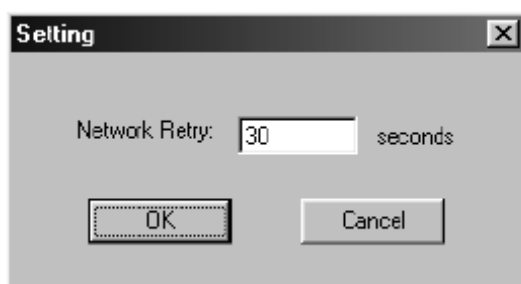
項目	説明
Search Option: New Search	Search Option 内のラジオボタンで検索範囲を指定します。 New Search を選択するとすべてのイベントログが検索範囲となります。
Search Option: Search include last results	前回検索した範囲についてもう一度検索します。
Search Option: Search exclude last results	前回検索した範囲以外のイベントに対してもう一度検索します。
KN9116 List	KN9116 リストは IP アドレス順に表示されています。ログを検索したいユニットをこのリストで選択します。リストで選択しない場合、すべてのユニットが検索対象になります。
Priority	検索結果表示レベルを設定します。1 が一般的な表示、3 が最も詳しく表示されます。
Start Date	検索範囲の開始日を設定します。MM/DD/YYYY で入力してください。 例: 2005 年 6 月 1 日 → 06/01/2005
Start Time	検索範囲の開始時間を設定します。HH:MM:SS で入力してください。 例: 午後 1 時 45 分 8 秒 → 13:45:08
End Date	検索範囲の終了日を設定します。
End Time	検索範囲の終了時間を設定します。
Pattern	このフィールドに検索パターンを入力します。%を複数文字ワイルドカードとして割り当ててあります。たとえば「h%ds」と入力して検索すると、 <i>hands</i> 、 <i>hoods</i> などが結果として表示されます。
Results	検索条件に整合するイベントログがリスト表示されます。
Search	このボタンをクリックすると検索が開始されます。
Print	このボタンをクリックすると検索結果を印刷します。
Exit	このボタンをクリックするとログサーバを終了します。

Maintenance

この機能で管理者はデータベースを手動でメンテナンスすることができます。Limit(前ページ参照)で設定された時間が経過する前に、特定のイベント記録を削除することができます。

Option

Network Retry で、ネットワーク接続再試行までの秒数を設定します。この項目をクリックすると、このようなダイアログボックスが表示されます。



秒数を入力し、「OK」を押してください。

KN9116 ログサーバ メインスクリーン

概要

KN9116 のログサーバ メインスクリーンには 2 つの大きなフィールドから構成されます。上部フィールドにはログを表示するように選択された KN9116 がリスト表示されます (P.68 を参照)。下部フィールドは現在選択されている KN9116 (上部フィールドでハイライトされているもの) のイベントログが時間経過に沿って表示されます。下部パネルに表示させたい KN9116 を選択するには、上部フィールドで当該 KN9116 をクリックしてください。



上部フィールド

上部フィールドには 5 つの項目があります。

項目	説明
Recording	ログサーバが KN9116 のイベントログをリアルタイムで記録するかどうかを設定します。Recording のチェックボックスがオンになっていると、ログがリアルタイム記録されます。チェックボックスがオフになっていると、リアルタイム記録はされません。 注意 : KN9116 が上部フィールドで選択されていなくても、Recording チェックボックスがオンになっていればログがリアルタイム記録されます。
Address	IP アドレスまたはドメイン名 (ログサーバに与えられている場合) を表示します (P.68 を参照)。
Port	KN9116 に割り当てられたポート番号を表示します (P.68 を参照)。
Connection	ログサーバが KN9116 に接続されている場合、この項目に <i>Connected</i> と表示されます。 接続されていない場合、この項目には <i>Waiting</i> と表示されます。これはログサーバの MAC アドレスが正しく設定されていないことを示します。アドミニストレータユーティリティを参照し Network ページで正しく設定してください (P.24 を参照)。
Days	この項目には KN9116 のイベントログが何日間保存されるかが表示されています。
Description	この項目には KN9116 について追加された情報が表示されます。(P.68 を参照)

下部フィールド

下部フィールドは現在選択されている KN9116 のイベントログが時間経過に沿って表示されます。選択されている KN9116 が複数あり、それらが現在選択されていなくても、Recording チェックボックスがオンになっていれば、ログファイルが作成されてデータベースに記録されます。

付録

トラブルシューティング

一般的な操作

症状	考えられる原因	対処
マウスあるいはキーボードが反応しない	マウス/キーボードのリセットが正しく行われていない	コンソールポートからマウス/キーボードのケーブルを抜き、挿しなおしてください。
ネットワーク接続が突然失われる	ローカルリセット KN9116	KN9116 への接続を切り、30 秒以上待ってから再ログインしてください。

Java クライアント

マウス同期の問題については、P.**をご参照ください。KN9116 への接続と操作についての問題は、以下の表をご覧ください。

症状	対処
Java クライアントで KN9116 へ接続できない	1. Java2.0 JRE1.4 以降をお使いのコンピュータにインストールしてください。 2. ブラウザで開く web ページの名前と KN9116 の IP アドレスが正しいか確認してください。 3. 一度 Java クライアントを閉じてから再試行してください。
Windows メニューキーを押しても反応しない	Java はウィンドウズメニューキーをサポートしていません。
Java クライアントのパフォーマンスが低下した	プログラムを一度終了させ、再び実行してください。

Windows クライアント

症状	対処
Windows クライアントで KN9116 へ接続できない	DirectX 7.0 以降がお使いのコンピュータにインストールされている必要があります
リモートシステムのマウスポインタが同期していない	<ol style="list-style-type: none">1. Auto Sync 機能 (P.49 を参照) を使用してローカルとリモートのモニタを同期させてください2. Adjust Mouse 機能 (P.47) を使用してマウスを同期させてください3. 以上の 2 つの方法で問題が解決しない場合、ローカルのマウス動作に関する設定が原因である場合があります。P.54 をご参照ください。
リモートシステムのウィンドウの一部しか表示されない	Auto Sync 機能 (P.49 を参照) を使用してローカルとリモートのモニタを同期させてください

仕様

機能		仕様	
コンピュータ接続数		16	
ポート選択		OSD/ホットキー	
コネクタ	ローカルコンソールモニタ	HDB-15 メス	× 1
	ローカルコンソール キーボード/マウス	ミニ DIN 6 ピン メス	× 2
	コンピュータポート	SPHD-15	× 16
	LAN	RJ-45	× 1
	PON ポート	DB-9 メス	× 1
	電源ソケット	3 極 AC 電源ソケット	× 1
スイッチ	電源	ロッカースイッチ	× 1
	リセット	ピンホール型	× 1
	ポート UP/DOWN	プッシュボタン	× 2
LED	オンライン	グリーン	× 16
	選択ポート	オレンジ	× 16
	リンク	グリーン	× 1
	10/100Mbps	オレンジ/グリーン	× 1
	電源	ブルー	× 1
電源仕様		100V～240V、50Hz/60Hz、250mA	
消費電力		120V/60Hz 12W ; 240V/50Hz 12W	
キーボード/マウス エミュレーション		PS/2	
スキャンインターバル		1～255 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
VGA 解像度		1,600 × 1,200 ; DDC2B 準拠	
ケース材料		メタル	
重量		4.2kg	
サイズ(W×D×H)		437.2 × 260 × 44mm	

OSD 工場出荷時設定

設定	出荷時設定
OSD ホットキー	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
ポート ID 番号表示	ポート番号 + ポートネーム (与えられている場合)
ポート ID 番号表示時間	3 秒
スキャン/スキップ モード	すべてのポートが対象
スキャン インターバル時間	5 秒
スクリーン ブランカー	0 分 (無効)
ビープ音	オン
アクセス可能ポート	フルアクセス (すべてのユーザーがすべてのポートに対してアクセス可能)

ログイン情報の消去

ユーザーネームやパスワードを忘れるなど、万が一アドミニストレーター権限でログインできなくなった場合には、以下の手順でログイン情報をクリアすることができます。

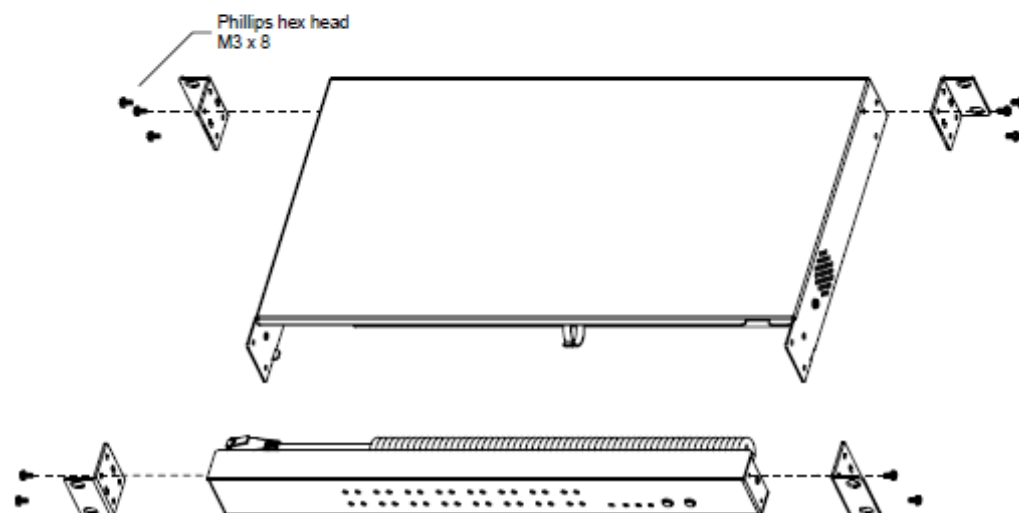
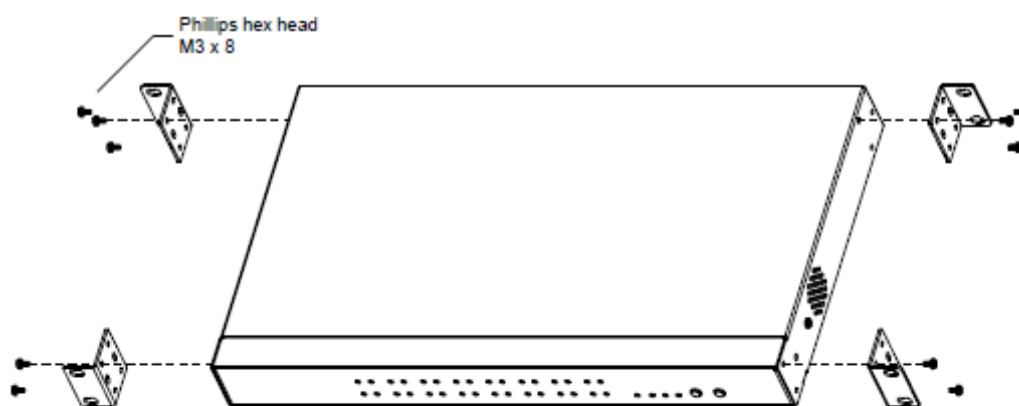
1. KN9116 の電源を切り、ケースを取り外します。
2. J8 のジャンパースイッチをショートさせます。
3. そのまま KN9116 の電源を入れます。
4. 10/100Mbps LED が点滅するのを確認してから電源を切ります。
5. J8 のジャンパースイッチを開放します。
6. ケースを元に戻し、KN9116 を再起動します。

再起動後ログイン情報がクリアされていますので、デフォルトのユーザーネームとパスワード (P.19 参照) を使用してログインしてください。

ラックマウント

KN9116 は 1U サイズのシステムラックへマウントできます。ラックマウント金具は、本体のフロントパーツ、リアパーツの両方どちらでも取り付けることができます。

1. 下図に従って、マウント金具をユニットのフロントパーツまたはリアパーツにネジ止めしてください。
2. ラックにスライドさせて入れ、ネジで固定してください。



製品保証規定

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品の販売店は、製品および本ドキュメントの使用に関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる表示・保証も行いません。

弊社は製品および付属のソフトウェア・ドキュメントについて、予告なしに改良・改訂を行う権利を有します。詳細については販売店までお問い合わせください。